

身体は 悦んで るんだらう

（発情オメガバース）

上の口では

いぬいぬ
言っても

Kyoko Nishiomi

西臣匡子

恋愛
MAX
COMICS

※この作品は雑誌「恋愛LoveMAX」「恋愛チェリーピンク」に掲載、または短編よみきり配信されたものを再編集したものです。デジタル配信版の雑誌「恋愛LoveMAX」「恋愛チェリーピンク」または短編よみきり配信をお求めになった方は、コンテンツ内容が重複する場合がございますので、ご注意ください。

上の口では

いぬいぬ

言っても

身体は

からだ

悦よろこんでるんだらう

（発情オメガバース）

Kyoko Nishiomi

西臣匡子

恋愛
MAX
COMICS

CONTENTS

#1 5

#2 85

#3 135

かりやしろうドM疑惑 186

上の口ではしゃしゃり言っても

からだ
身体は

悦よろこ

んでるんだらう

（発情オメガバース）

Kyoko Nishiomi

西臣匡子

1





人間は性別
血液型の他に
3種類の「性属」に
分かれます

世界の9割は
一般的な
特徴を持つ
性属の β

残りの1割は
 α と Ω という
特殊な性属が
稀に生まれるの
です

[α] 生まれつき能力値が高い者もエリートが Ω とい
アルファ
[Ω] 3カ月に1週間の発情期(ヒート)を持つ
オメガ

Ω の発情期は
「ヒート」と呼ばれ
心身共に強制的に
繁殖のことしか
考えられなくなり

周囲にも
「フェロモン」を
放出

フェロモンは
特にエリートの α を
惹きつけてしまい
1週間ほど
その欲求の道連れに
してしまう

なので Ω がいると
社会が乱れると
言われ蔑まれて
きました

ですが





今はその
発情期を抑える
抑制剤の開発も
進み

Ωも
他の性属同様
社会で働きやすく
なりました

君たちはまだ
どの性属か
わかりま
せんが

あと数年も
すれば
はつきりと
自覚症状が出ます



ヒョ
みお
澤ちゃん
きつとΩだよ

だって頭
いいもん

どの性属と
なっても自らを
コントロールし



そうかな…

仲良く暮らして
くださいね



10年後

今回はベスト
セラー作家
相田純陽さんあいだじゅんよう
にお越しいただき
ました

先週発売された
小説「花と影」の
売れ行きも
絶好調なんで
すって？

滞？

って
恥ずかしいもの
録画したん
だなあ

そんな！

でもおかげ様で
「花と影」は
本当に評判
いいんだよ

はは

相田先生は
偉大な方です！
あと3回は
観ますから！



君が

スランプ中の
僕の代わりに
書いてくれる
おかげだ

ありがとう



いえ…

私の文章を直して
世間に売れるように
してくれてるのは
相田先生です

相田先生宅の
家政婦兼
ゴーストライター



それが今の
私の職業

今日は
打ち合わせが
あるから
ついてきなさい

はい

私の世界は

相田先生しか
いない

だって先生だけだった

私をΩと知っても

これは余談
ですが

αとΩにのみ
恋愛より強い
特別なつながり
が発生し

それを
「運命の番」
といいます

普通の女の子として
扱ってくれたのは

α ♥ Ω

αとΩにだけ？
ずるーい

カギ、カギ、

ちなみに
性行為の際に

αがΩの
フェロモンを分泌
する項を嘔むと
フェロモンが
変質し

以後 Ωは
番になった
相手のみ
フェロモンが
効くように
なるのです

ロマンチストな
先生が話していた

たった1人の人を
見つけられるのは
とても素晴らしい
ことよ

「運命の番」
なんて与太話
信じてないけど…



本当に

「運命の番」が
いるなら…

相田先生が
いいの…

「僕は、だからね」

「君がヒトに
なっても」

Ωのフェロモンは
あまり効かないし
安心してくれ



この
オンボロとも
やっとおさらば
ですよ

その分
ちよっと
故障しても
もう放置ですが



今 新社屋を
建設中でしてね



Cherry出版



毎回
打ち合わせも
見たいなんて
熱心だねえ



相田先生の
見習いさん…
百合岡滞…さん
だっけ？



ゴーストライターで
あることは
Ωであることは
もちろん
相田先生しか知らない

あっ





あれ...?

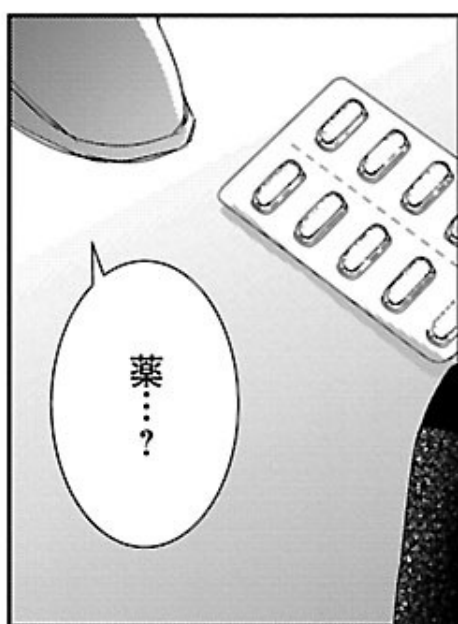
一瞬力が抜けて...

おっと
悪いな
お嬢ちゃん

ヒヤッ

.....
あ



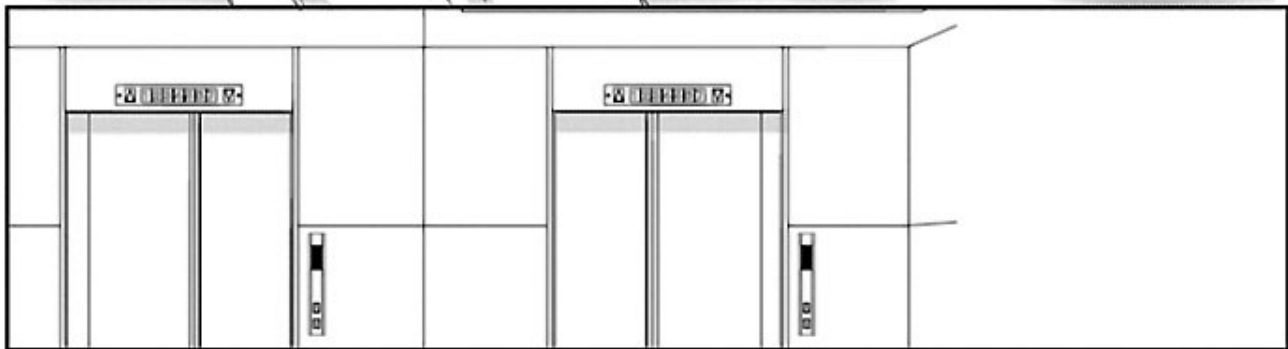


打ち合わせで
相田先生と担当さんが
大まかなストーリーや
アイデアを出す

それをもとに
私が肉付けし整えて
プロットを制作

・主人公と9三角肉係
・1人が事故でなく
・両者T=2人は







相田先生の
愛人君

どう
いたしまして

!!

あっ!?

敵!

愛人じゃ
ありません!

失礼
こんな所まで
ついてきてる
ようだから
ついつい

いやいや
これでも
相田先生を
見直したとこ
なんだ

「花と影」
実によかった

ちゃんと
読んでる
のかい

いつもは
情性的な
使い回し文章
なのに

最近やけに
人間の心情が
細やかに
描かれているし

ポメ…!?

ってそう
威嚇するなよ
ポメラニアン君

かよって倒さ
怒るのか
やからない



ほらほら
ここ

このシーン
せつなすぎて
読んでて時間が
止まったように
感じたくらいだ

ぬくもりを
感じて涙すら
誘われる

ほ…



本当？
すごい

そんな
とこまで
読み取って
くれるなんて



なぜ
お前が喜ぶ

あ…
相田先生が
褒められると
私もうれしくて

そこは手直しなしの
私の文章
そのままの箇所

自分が
褒められた
みたいで…

一瞬浮かれてしまった…

ああ…
やっぱり



利用され
てんぞ？

!?

相田は以前から
目の出そうな奴を
口説いては
ゴーストとして
才能を搾り取る
噂があった

女ばかり：
自分に依存
させてな





お前の前にも
見習いと称して
数人女を
連れてたが

誰一人
デビューして
ないし

リリリン



嘘じゃ
ないもん



そんな…
嘘
言わないで…!



おおかた
書かせまくって
疲労困憊させ
相田の名前だから
売れるだけで
お前に才能なんか
ない

とか言って
メンタル潰して
ポイしてるん
だろうよ

さつきから
なんだか
嫌な動悸がする

わ…
私は大事に
されてます

まだ
使える子には
優しいだけだ

言いがかり
つけられて
落ち着かない
のか…



早くこの人から
逃げないと

否定しないん
だな

嘘のつけない
いい子は
大好きだよ
オジサンは

!?

ア
ン









こんな狭い場所で
 α と
ヒート中の Ω が
閉じ込め
られたら……!



嘘でしょ
刈谷さんが α !?



膝に力が入らない

身体が熱い……



こんな
ぐちよぐちよに
濡らしてんのに



…だめ？
何言ってるんだ



あ



あああ…っ…
だ…だめっ



やだ…
ヒートになると
体液が大量に
分泌される
っつのも
本当なんだな

は…
挿れたい
今すぐ
挿れてえ

やだやだ…



だって…
だって私は…



なのに



上等

お前が
望まない限り



あ

女々々

挿れないで
いてやるよ

ああ
あ



あ

すげえな
Ωの性器
ってのは

お前の入り口に
押し付けてるだけで
ぐっしょりして
ぱくぱく俺の
むしゃぶりついてる
みたいだぞ

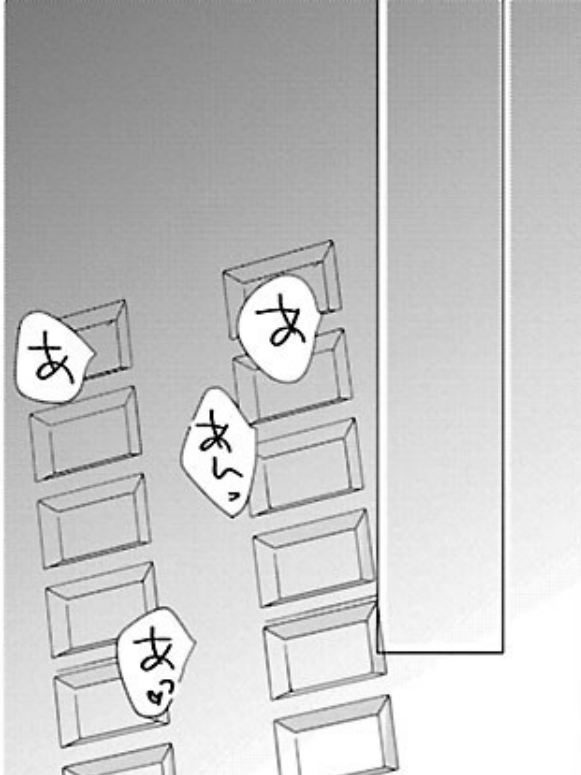




.....
て

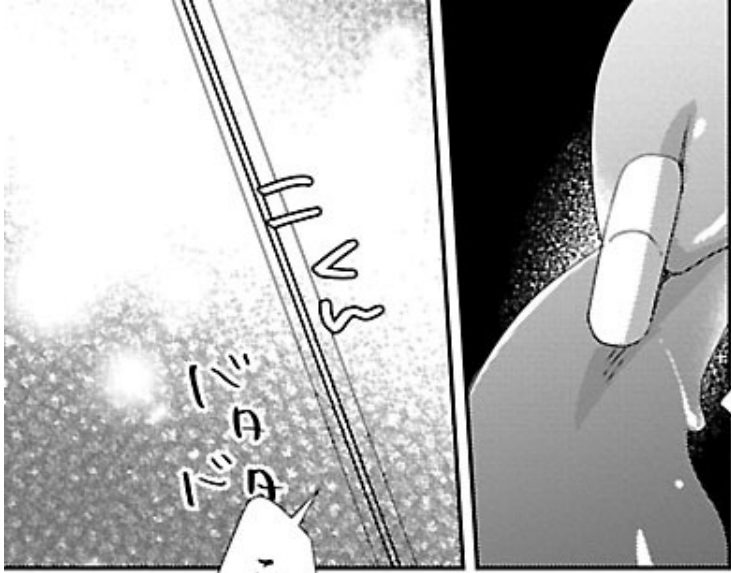
相田.....
せん...せ...

頭んながぐちやぐちやだ









ア
ア
ア

ア
ア
ア



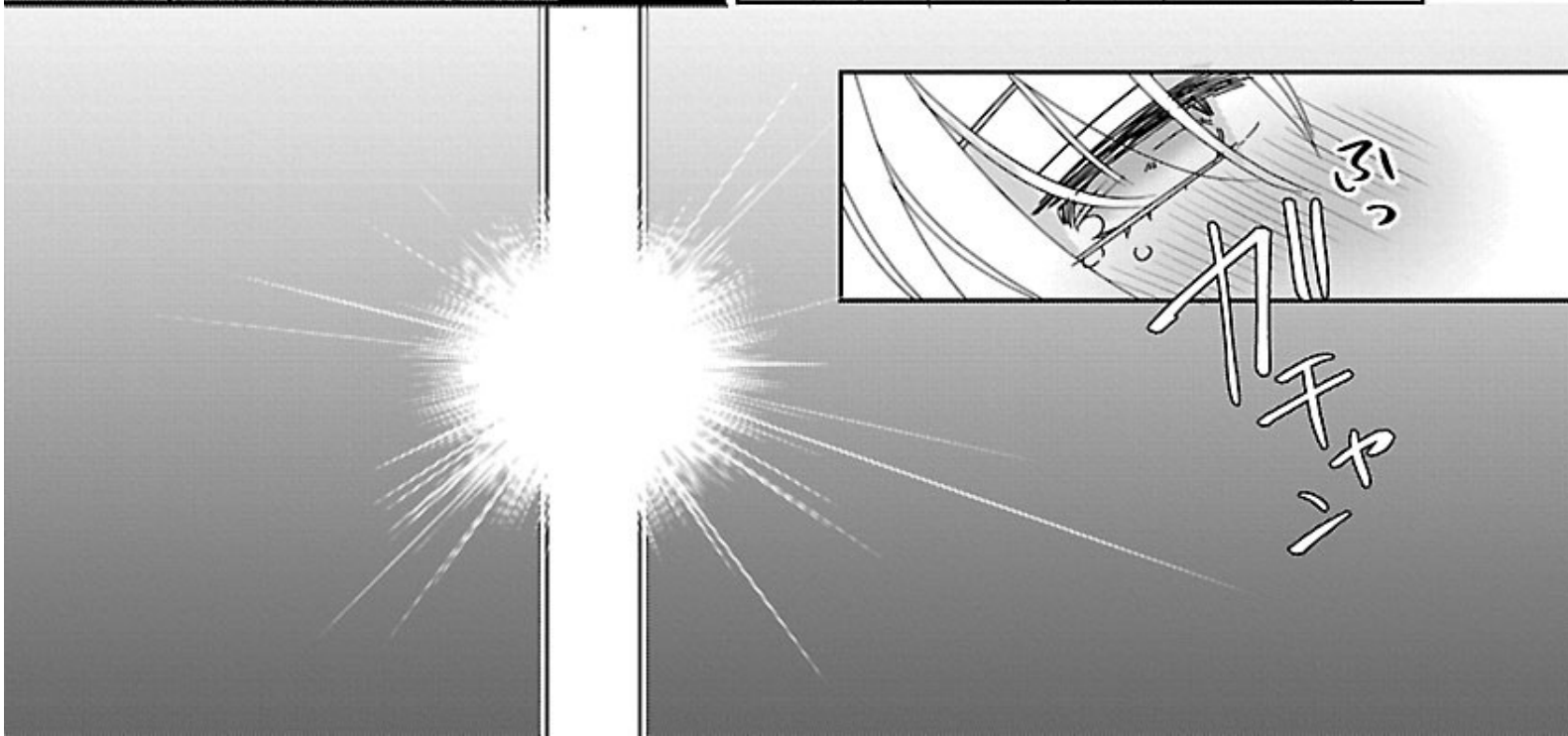
!?

ア
ア
ア



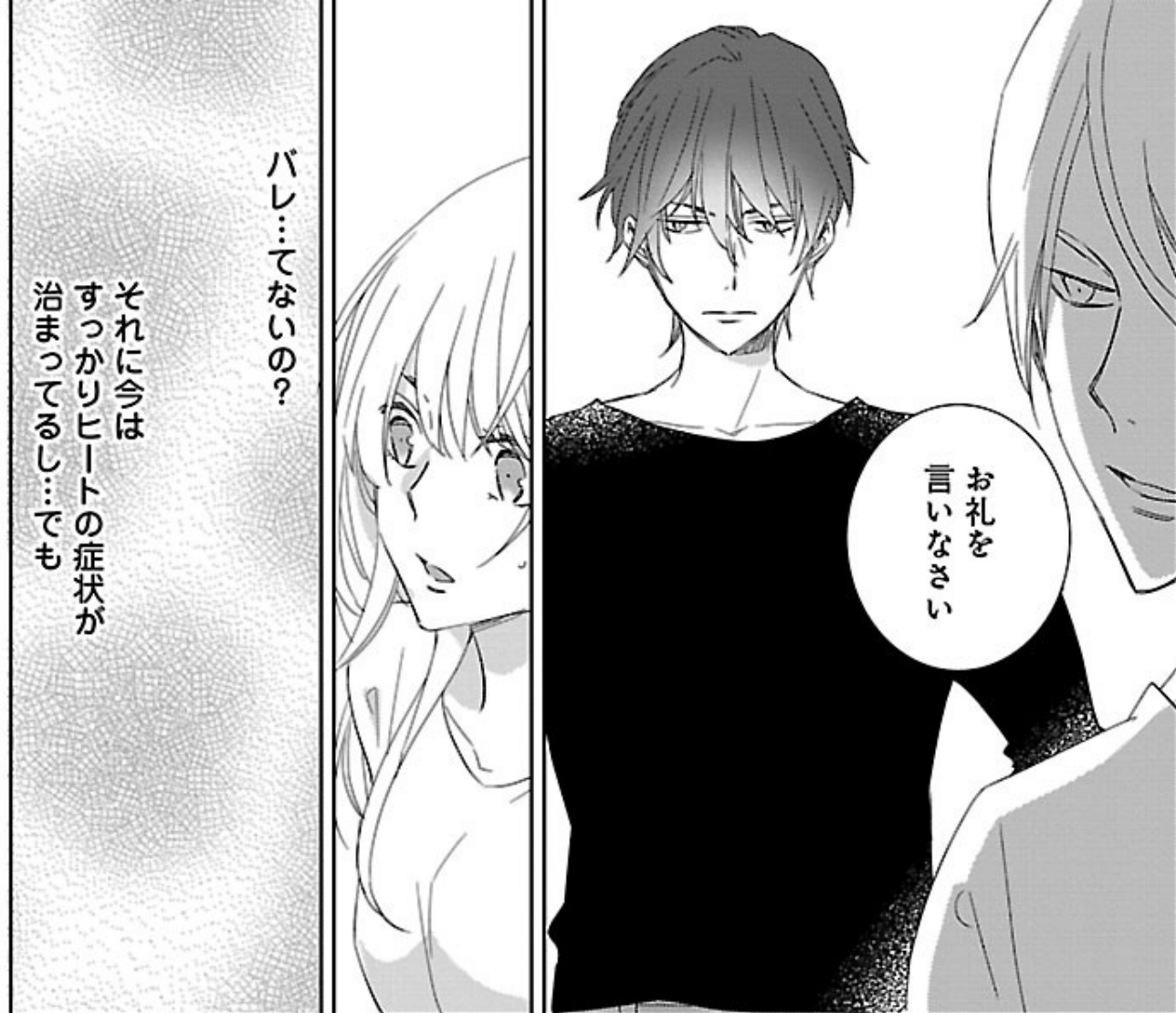
ア
ア
ア

わかりました
今開けます



ア
ア
ア





お礼を
言いなさい

バレ…てないの？

それに今は
すっかりヒートの症状が
治まってるし…でも



…じんじんしてる…

夢じゃあなかった

タクシー
呼んでくる
から

え…いえ
自分で
帰れます…

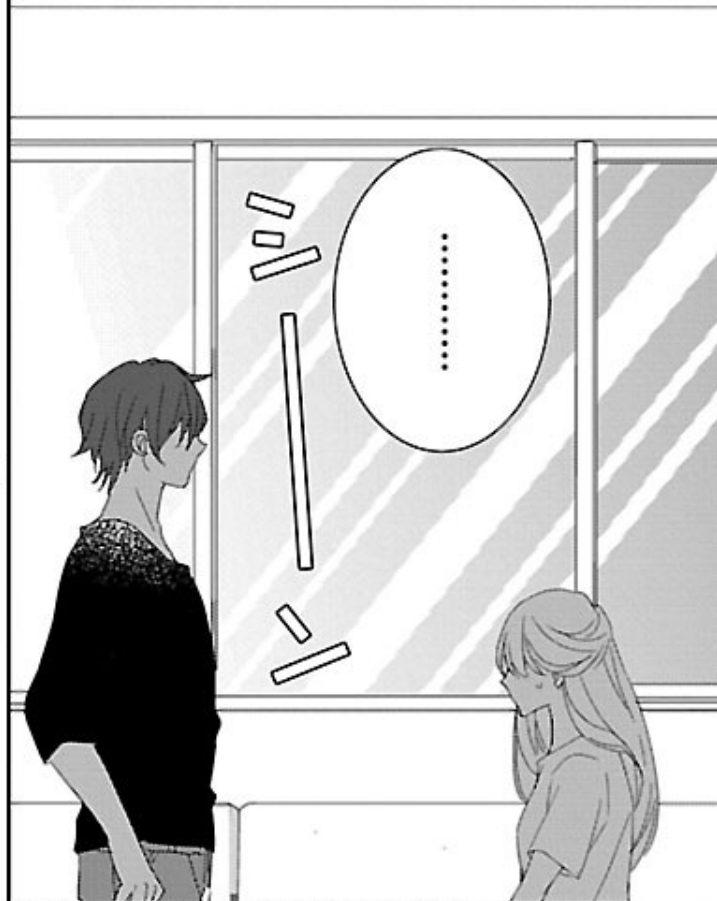
いいんだ



君にしか
頼めないことが
あるんだし

身体は大事に
してもらわ
ないと

10
A
ン





止められ
なかった

種付けしたくて
たまらなかった

…だから



最低とは
ひどいな

俺はお前が
挿れて♡
ってねだって
きたから…

やめ—

てのは
半分冗談で



安心しろよ

やってる
場面は人に
見られてない



理性を
取り戻すには
なかなか
苦労した



…

そうだ…

私も

同じだった

わかっていても
止められなかった

そんな中で
この人は
自分の腕を噛んで
理性を取り戻して
くれたのか…



もしかして…
いい…ひと…?

あ…
ありがとう…
ございます



そんなわけで
またやらないか？

は？



お前の
エロ顔公開プレイを
阻止してやったんだ

それに

ゴーストライターの
ことも…
相田のために
バラされたく
ないだろ…？



誤魔化しなど
通用しない眼光

いじで断っても
きつと
追い詰められる



……たとえ
ハッターだとしても
ゴーストライターの
噂が広がれば
相田先生の
作家生命が終わる

……



わか……った

悪夢だ

何よじ



知ってしまった
あの快楽には
身体が抗えない…



あれが…
αとΩの
セックス…

甘美な悪夢だ…



カ
キヤ

おっ
来た来た
Ω君

…って









通りかかった
βの警備員に
助けられたけど

「こいつが
Ωのせいだ！」

「俺は
フェロモンに
惑わされた
だけだ……！」

社長は自分の
無実を訴える
ために私の
性属を会社中に
バラして……



会社を
辞めるしか
なかった

男に媚
売ってるんじゃない？

やらせて
くゆるし
いちゃほええ？

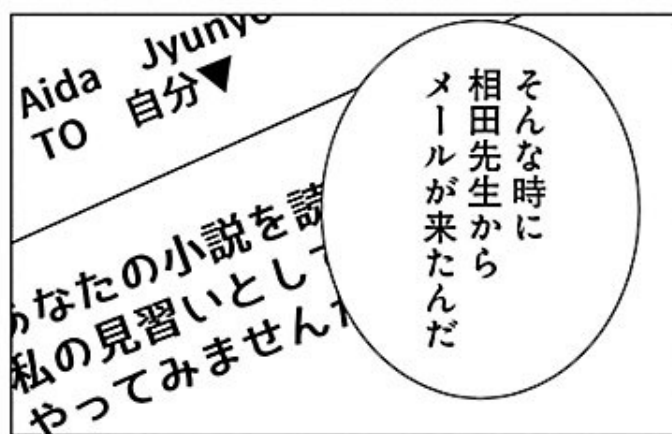
オメがなんだ



結局
Ωの生活は
網渡りだって
知った

抑制剤が
あったって

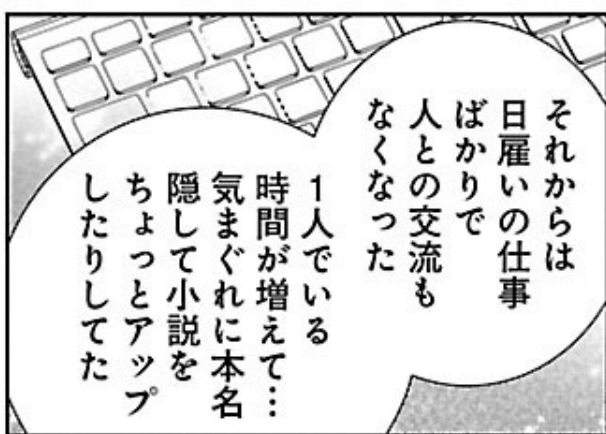
発情期に
社会に出るのは
危険すぎる



Aida Jyunya
TO 自分

あなたの小説を
私の見習いとして
やってみませんか？

そんな時に
相田先生から
メールが来たんだ



それからは
日雇いの仕事
ばかりで
人との交流も
なくなった

1人でいる
時間が増えて……
気まぐれに本名
隠して小説を
ちよっとアップ
したりしてた

相田先生の
小説のファン
だったし
舞い上がって

たまに会って
小説を添削
してもらったり
してるうち…

「うちで
住み込みで
小説の勉強を
してみないか？」

「君 仕事口に
困ってるみたいだし…
十分なお給料は
払えると思う」

迷惑かけたく
なくて断ろうと
Ωであることを
告白したよ

そしたら

「僕はβだし
フェロモンには
鈍感なんだ」

「それに君は
俺にとって
普通の女の子だよ」



「ピッチじゃん」

「回ってセックス
大好きだから
フェロモン流すんだろ」



「あれ
僕 変なこと
言っちゃった？」

「大丈夫？」



私の世界には
相田先生しか
いないの…

だから
スランプだ
助けてって
言われたら
助けるし

あなたから
だって
守るよ…！



そそる



その身体で
俺に抱かれに
きたって？



相田のために
徹夜して

ふふ
ふふ



でもお前だって
感じてるんだろ



そういう女を
あんあん言わせるの
すごくいいネタだと
思わないか？

支配欲を
そそられる

変態……！

ポピュラーな
男のロマン
ですよ



俺らのセックスの
相性は本能が
呼び合うように
最高だった

あの快楽は
忘れたくても
忘れられない



……っ
そんなこと……
ない

そうか？

ゆき
ゆき



☆
それなら

ゲツ

！

……いの



女

好きでもない男に
こんなにも
感じてしまう……!

女

女

女

女

はっ

女

女

こっちも

お待ちかね
だろ

ひゃう……

さすがに
ヒート真っ最中の
時ほど
濡れちやないが……

それでも十分
ぐちよぐちよ
だな

女

っあ……
なんで言う……

や

あ……ん

やだやだ

まーた
やだやだ期か

でも

そのやだは
快樂に
流されそうで
やだやだ……だろ

女

や

や

や

かり

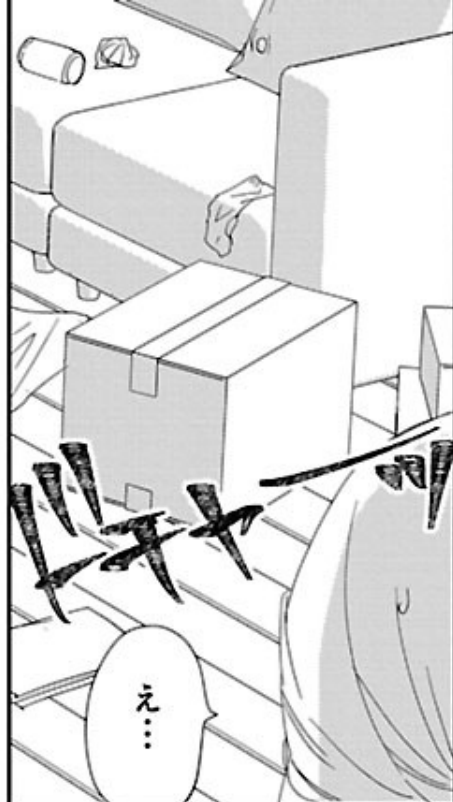
かり

かり

女

女





鍵
開けとくから
勝手に
入ってきて

私はヒートじゃ
なくても
刈谷さんの家に
呼ばれるようになる





ちよっと
毒気
抜かれた

αでも
そんなふう
に
悩むんだ

130



初めて
笑ったところ
見たなー

本当は悩まず
ちやっちゃと
書いたって
売れるんだよ

俺様
だから

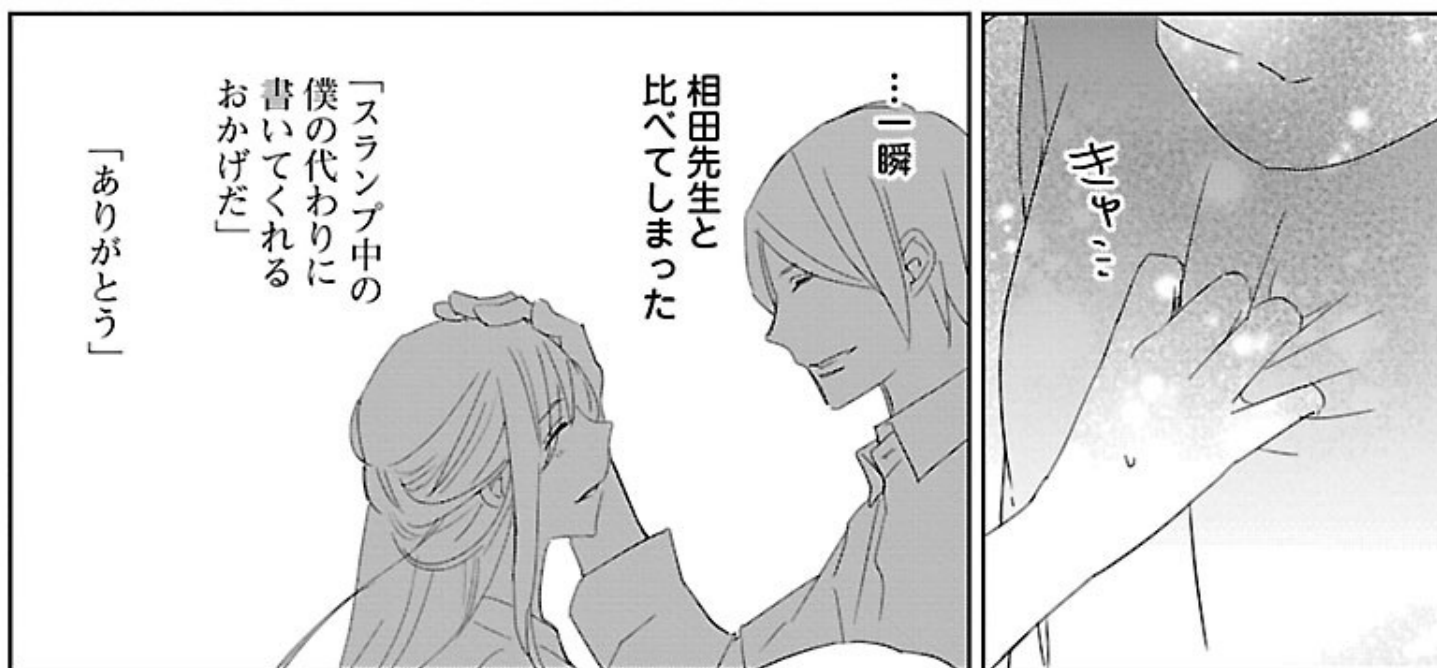
ハア…

でもそれじゃ
満足できない



より高みを
目指す

自分の限界を
超えなきゃ
満足できねえの



ギョッ

…一瞬

相田先生と
比べてしまった

「スランプ中の
僕の代わりに
書いてくれる
おかげだ」

「ありがとう」



相田先生は
刈谷さんみたいに
もう悩まなく
なったのかな

だから私が
書いても…

「相田は以前から
目の出そうな奴を
口説いては
ゴーストとして才能を
搾り取る噂があった」



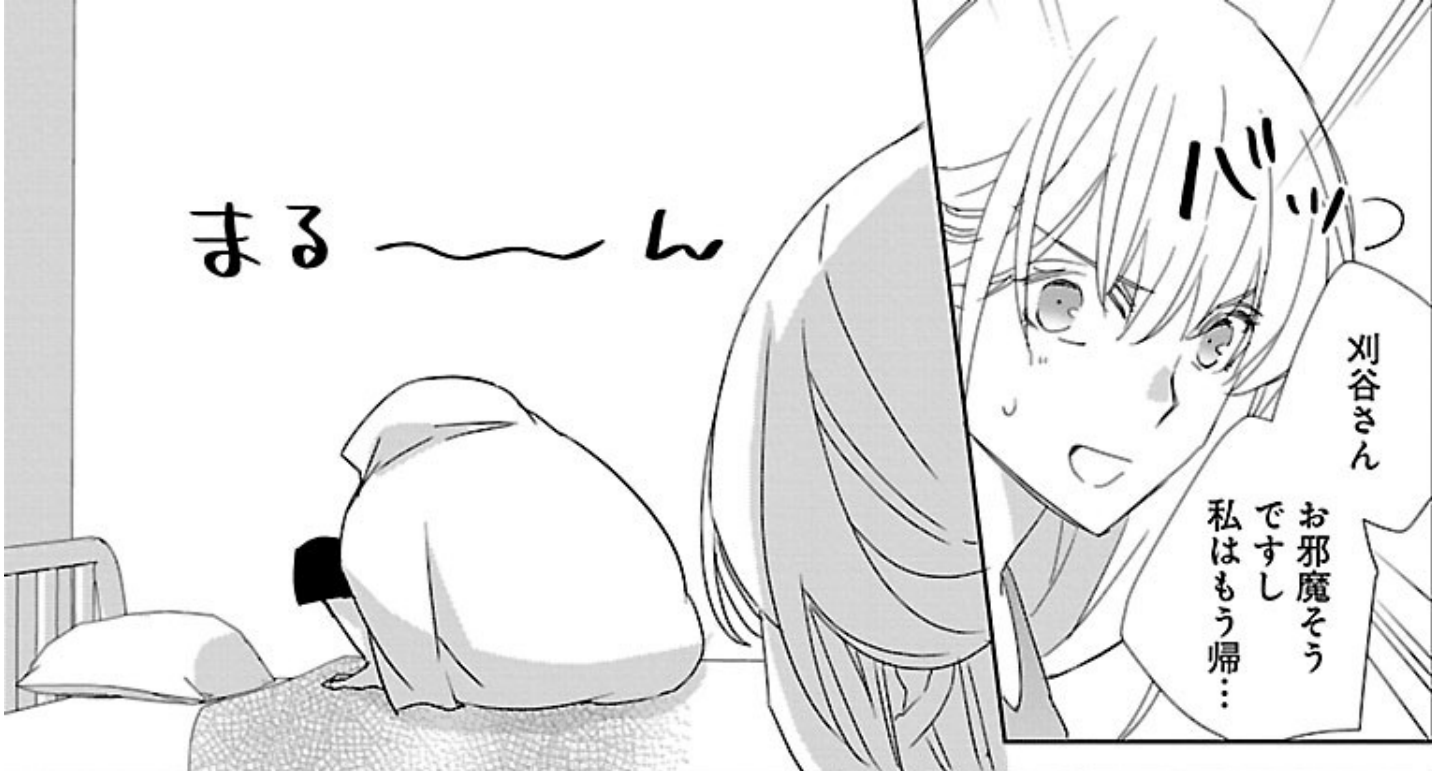
ってバカ!

何を

揺らいでるんだ

私







どうぞ



キッチン勝手に
借りました
…何もなくて
びっくりしたけど

白湯さゆに
しょうがチューブと
はちみつを
入れたやつ

…私も小説に
つまると

一度
頭をリセット
するために
飲んでるんだ…





ヒキ



あ

いい感じに
創作意欲
湧いてきた

多分お前の
おっぱい
揉んだら
もっと湧く

は!?

たった1杯の
白湯で

なんでそんな
嬉しそうな
顔してるの



真顔で
もまら
いる...

このかっこで
よくプロット
打てるな...



そりやあもう

こんなんで
本当に作業
進む…ん…っ
すすむ…の？



これ
今の私じゃ…！
えー
フィクション
ですよお

・男の膝の上で
胸を揉まれる主人公

・それが男の活力を生み



プロットの
できあがり

ふあっ



おかげ様で
あとは軽く
整えて担当に
送るだけだ

ああ

あ

あん



「相田は以前から
目の出そうな奴を
口説いては
ゴーストとして才能を
搾り取る噂が……」

私は



もう一度
相田先生の
小説を全部
読み直した



確かにテイストは
相田先生のもの
……でも

表現や使う単語は
時期によって
バツサリ違う

それに私も
ゴーストライター
だからわかる

中期以降の
先生の作品は

それぞれ
違う人に書かせたものだ…



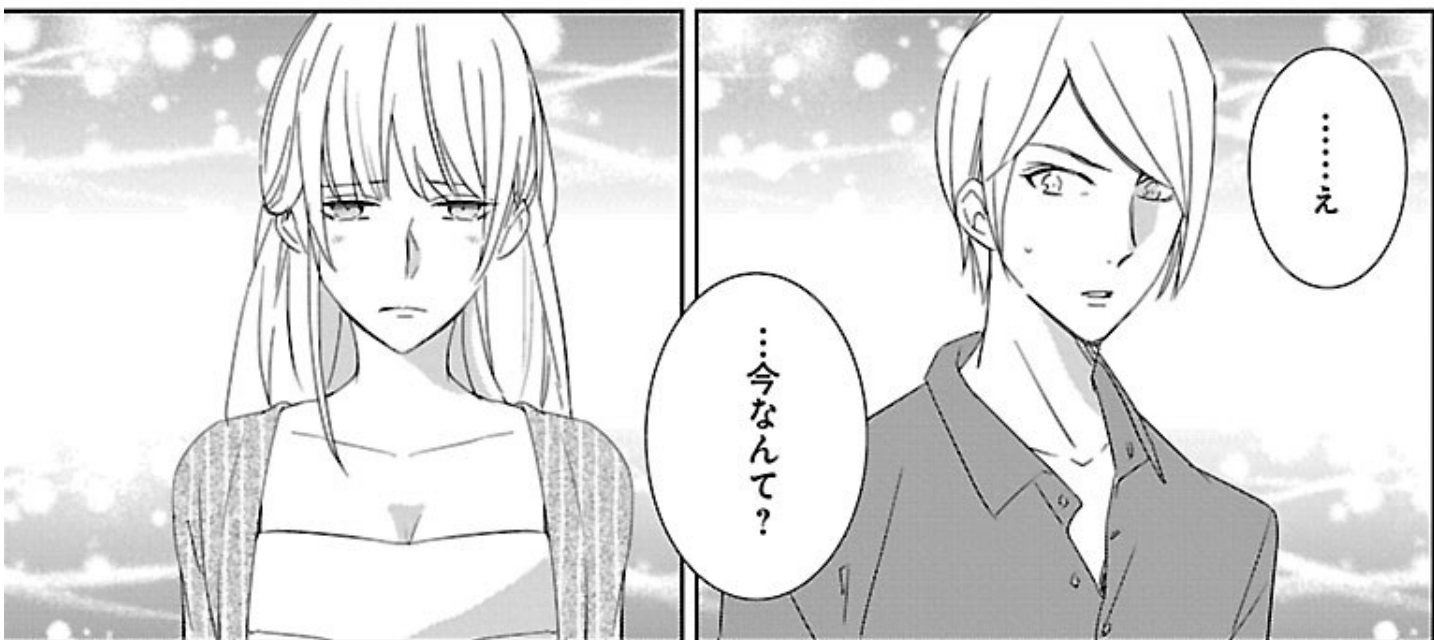
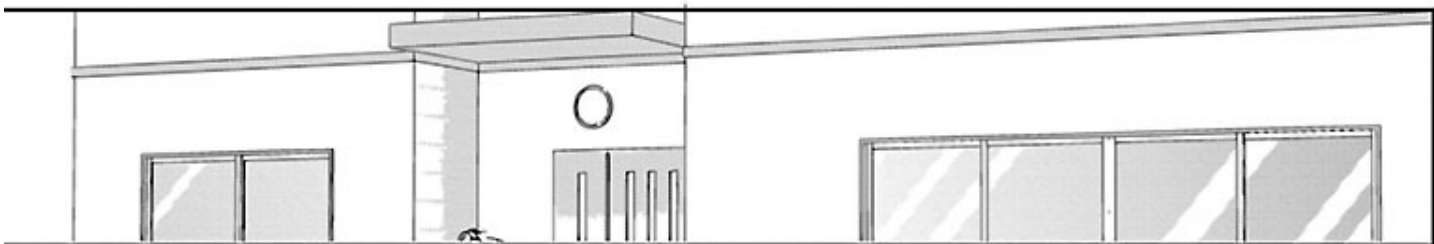
本当に
スランプなの
かもしれない

ハ
ア
ン

でも…
きっと先生はもう



小説を書いたり
悩んだりすることを
放棄して
しまったんだ…





は？ お前は
何言ってるの？



そんなこと
ありません……！

嘘つけ

お前 心が
冷たいんだよ

俺のこと
単なるATMだと
思ってるんだろ
だから
そんな簡単に
辞められるんだ



相田……先生……？

お前 俺に
見いだされた恩
感じないわけ？

あー
人間として
最低



お前 刈谷と
会ってただろ

お前に
持たせてた
スマホのGPSで
知ってるん
だからな

な……っ

あいつ 本当に
気に食わないよ

さらっと
新人賞もらって
ベストセラー作家に
なって

顔もいいし
俺より
ちやほやされて

何より
α様らしい
じゃないか



気に食わないって
濡も知ってた
よなあ？

なのにあいつ
αとΩで
すごいこと
やってたんだろ

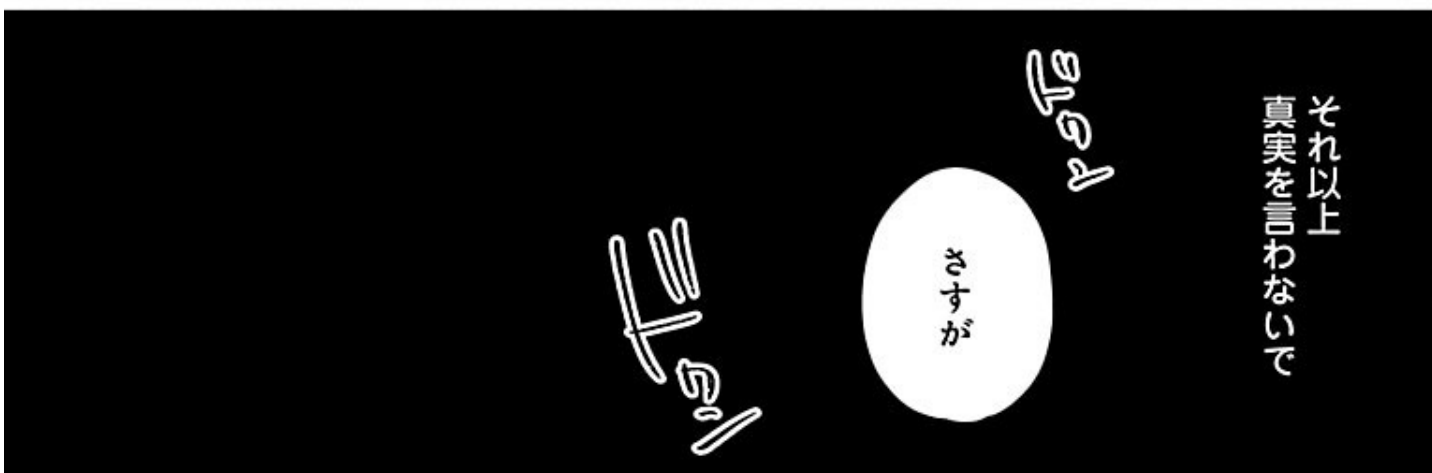
それは……
理由があつて

知らないよ

せっかく
新しい
ゴーストとして
優しくしたり

やめて

養って
やったのに



それ以上
真実を言わないで

ヒッ

さすが

ヒッ



淫乱なΩだよ



ああ…

信じていた
世界が



壊れてしまった



ぎやあ…っ

嬉しいだろ？
濡は僕のこと
ずっと好き
だったもんね

最初から
こうしてれば
よかったかな？

や…やめて

おんちゅ

…っ



ブッ



……ッ！

んっ



やらしいこと
好きだろう？

僕の味も
覚えさせて
やるから

やめてください
先生…！

離れられ
ないように



嫌だ…

嫌だ！
気持ち悪い…！

…きっ…

まいっか…
もう

やだ…！

誰か助けて



イマアナタノ
イエノ マエニ
イルノ

コンニチハ
ワタシ
カリイサン

トントン
ポーン



なんだよ
こんな時に

無視無視...

刈谷さん...!

トントン



ガキの
いたずらか
...?

...は?



コンニチハ
ワタシ
カリイサン...

玄関の鍵が
開いた!?





女性雑誌
RAN RANでの
インタビュー

相田純陽
小説家
苦手なものは
ホラー

うわっ

キーン



くはぁ……

イマ
アナタノスグ
ソバニイルノ……



お……お前



本当みたいだな



ゴーストちゃんは
どこだい

刈谷……!



なんで……
刈谷さんが

……



大丈夫か



滯

!



トコ

相田

…何しに
来たんだよ

もともと
滯は僕が
見つけて
僕のものだ

別に
誰のもの
でもねえよ

選ぶ権利は
こいつにある

なんで…
刈谷さんは

そんなふう
に言ってく
れるん
だろう

滯

私は孤独
に負けて

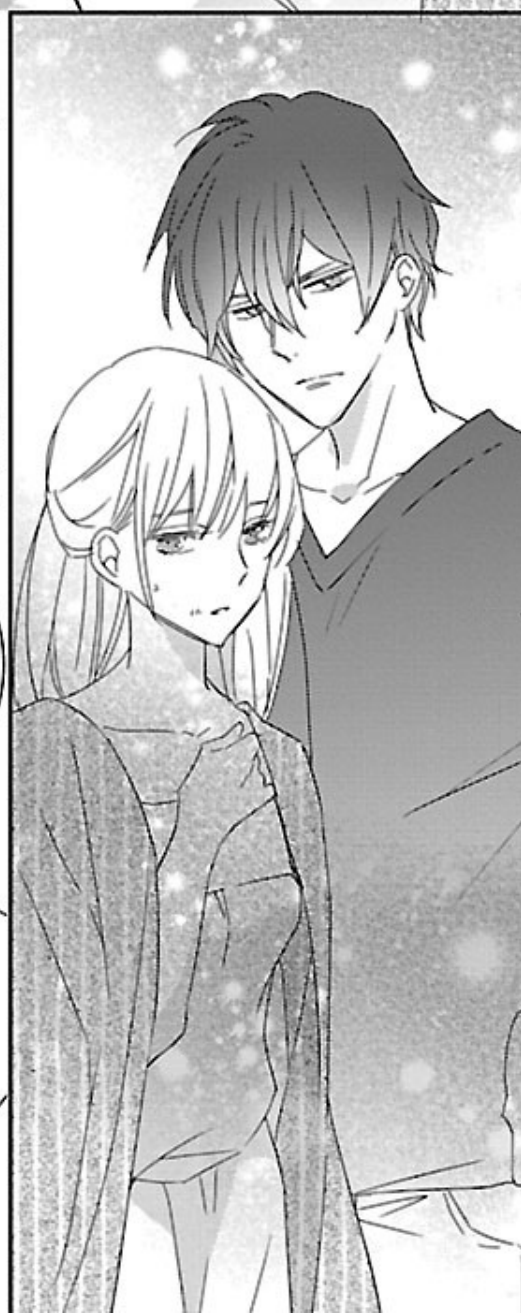
気まぐれに
差し出され
た優しさに
縋って

必要とされたく
てそれを愛だ
と言い訳しな
がらゴースト
ライターも
やった

それは
自分の弱さ
で見ていた
夢みたいなの
…なのに

刈谷さんは
いつの間にか
私の世界に
入り込んできて

夢から目を
覚まさせてくれた





俺の運命の番
だから

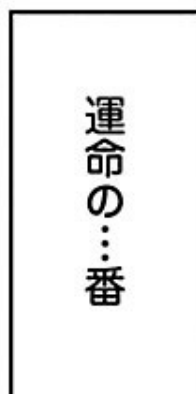
お前ごときが
どうこうできる
女じゃない



どうして
私のピンチが
わかったんですか

α と Ω が本能的に
DNA上最高の
相性を感じ取り
呼び合うという…

それは…



運命の…番



第六感

はっ？

α 様だし？

はっ？

…だから
運命の番
であることも
エレベーターで
やった時に
本能で感じてた





というか
ケロっと
してるなあ

言うなよ…
俺だって
都市伝説だと
思ってた

運命の番って
恥ずかしい響き



ショック
だけど…

相田先生に
とっても
私にとっても
これが一番
よかったから…



刈谷さんは
えっただけど
それはないと
思う

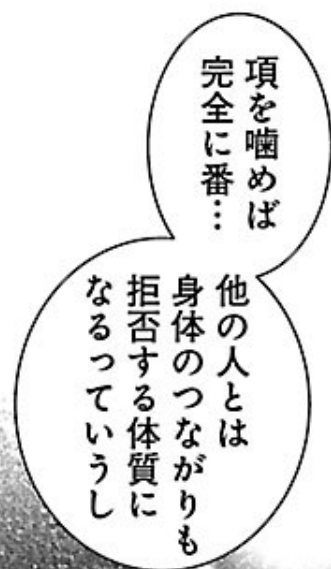
たとえば
俺とか

あれだけの
ことされて
相田先生に
とってもねえ

純粹すぎ

そんなんじゃ
また食い物に
されるぞ？

はあん？



刈谷さんは

私の
相田先生への
気持ち
を奪
わな
いで
い
て
く
れ
た
ん
だ

滯は本当に

お前の書く
文章のように
純粹で
新鮮すぎ

え……？

は

眩しい…

俺が目の下に
クマ作る
ようになった
のは

「花と影」の
影響だぞ

ええっ!!

お前の
文章は荒削り
だが…それがまた
将来性を
感じさせて

俺も
忘れかけてた
若い頃の
一生懸命さを
取り戻した

それもあって
目を覚まさせよう
なんて余計な
世話も焼きたく
なったわけ

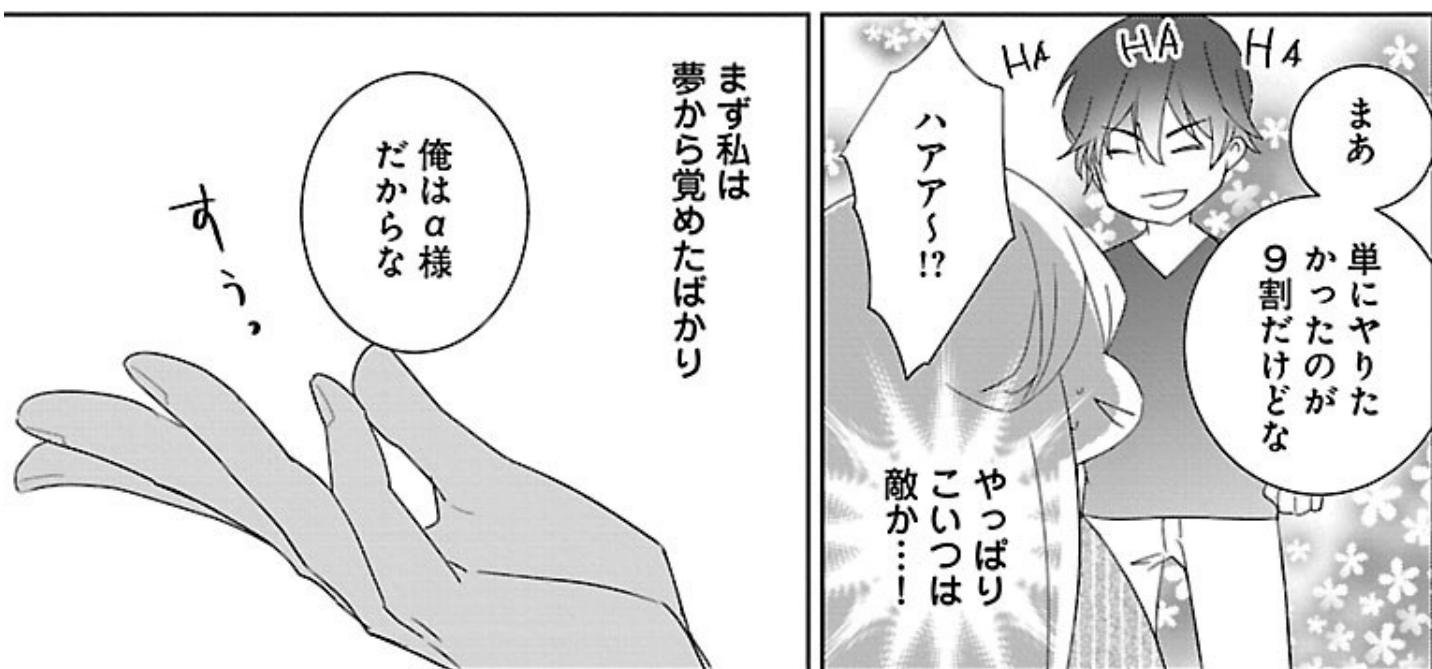


ありがとう…

つつっ

か

あ…



HA HA HA

まあ

単にやりた
かったのが
9割だけだな


ハアア〜!?

やっぱり
こいつは
敵か…!!

まず私は
夢から覚めたばかり


俺はα様
だからな

すっっ



お前が
懇願してきたら
挿入してやるし

項も
噛んでやるかも
しれないし



相田宅から
飛び出してきて
住むところありません
って泣きつけば

俺のところ
置いてやる

3食セックス
つきで

!

#2





ゴーストライター兼
家政婦をしていた
相田先生の元から
出て

2週間が経った

レビュー ▲▼
「冷たい」相田純陽

匿名さん 評価★
新シリーズ連載とのことで楽しみに
していましたし、実際ワクワクして
読みました。
なのに最終回は残念です。
匿名さん 評価★
も言っているが最終回がお粗末！
なんだか文章が幼稚。
い終わり方。



ほか
ほか

やっぱり心配っ
相田先生のとこに
戻るう〜

なんて
言いなさんな
よ？

「淫乱なΩ」

あんなことがあって
結局「冷たい肌」の
最終回は完成
できなかったから
相田先生が急いで
書きあげたん
だろっ？！



ほんとかあ？

言わない！



この人は
刈谷四郎

評判がタ落ちの
相田の本の
レビュー
しんみり
読んでたくせに

相田先生の
家にいられなく
なった私を
一時的に家に
置いてくれてる
ベストセラー
作家であり

生まれつき
高い能力値を持つαだ



刈谷さんは
Ωの私の「運命の番」だという
αとΩの間でのみ
たった1人に
発生する
恋愛よりも強い絆
項を噛んで
本物の番になると
Ωのフェロモンは
そのαにしか
効かなくなる

私の項は
まだ噛まれてない

わ
いっ
わ







ベストセラー
作家って
ずるいな…



言葉にしなくても
行間を読むように
本心を見抜いて

私のまやかしの
世界を

最後の
ひとかけらまで
ぶっ壊してくる…

なのに







起こすのも
あれだし…でも
妙に指が凹みに
フィットっていうか

じりり…

きゃっ



せりり
びりり

え…っあ

ちょ

って

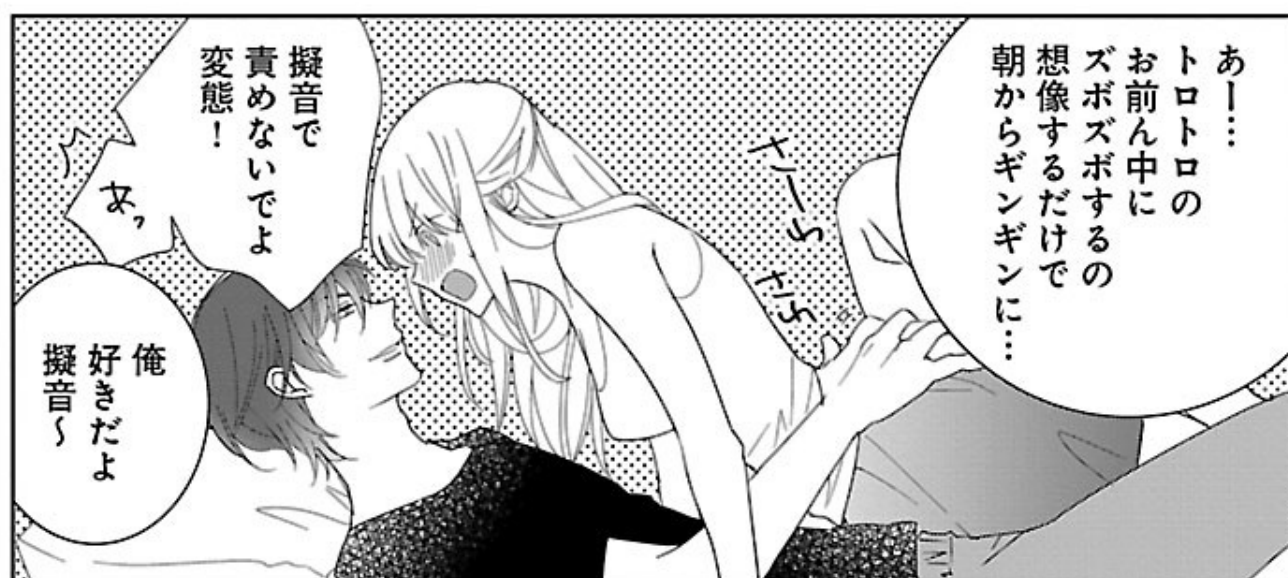


起きてる！
ばか！

おはよう

朝から弄る
Ωの
ピーツの窪み
最高

ニヤ
ニヤ

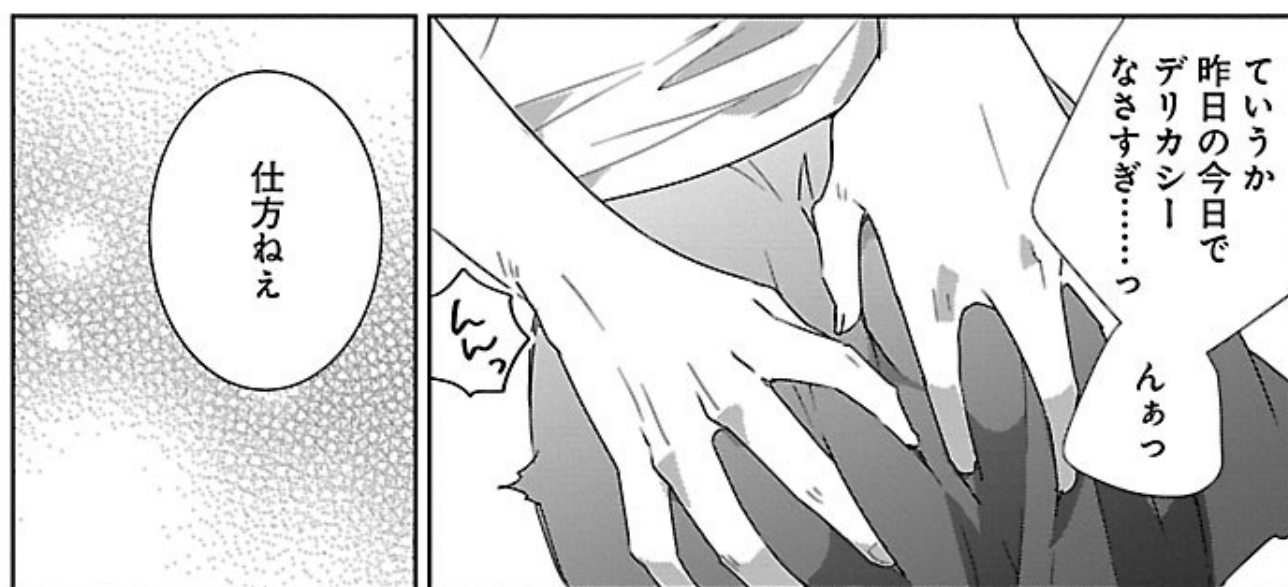


あー…
トロトロの
お前ん中に
ズボズボするの
想像するだけで
朝からギンギンに…

擬音で
責めないでよ
変態!

女、

俺
好きだよ
擬音



ていうか
昨日の今日で
デリカシー
なさすぎ……っ

んあっ

仕方ねえ



他の男の痕跡を
消したいα心

これも
「運命の番」の
本能って
やつかね

今はもう完全に
発情期を
抜けてる



なのに

むぎっ

ひゃっ

一度味わった
快楽を思い出すと
身体が反応してしまっ

やあ...

だ...め...っ

ひん



「やあ」ね...

わかってる
いつも通り
お前の中を
突きまくるのは

その
「やだやだ期」を
引き剥がしてから

え...っ



んあああ

ひん

びん



彼の支配欲を
満たしてしまっんだ

ああ...



欲しがって

ちょうだい...

刈谷さん...



最...高

ああ...



ぬぬぬ
ぬぬ
ぬ



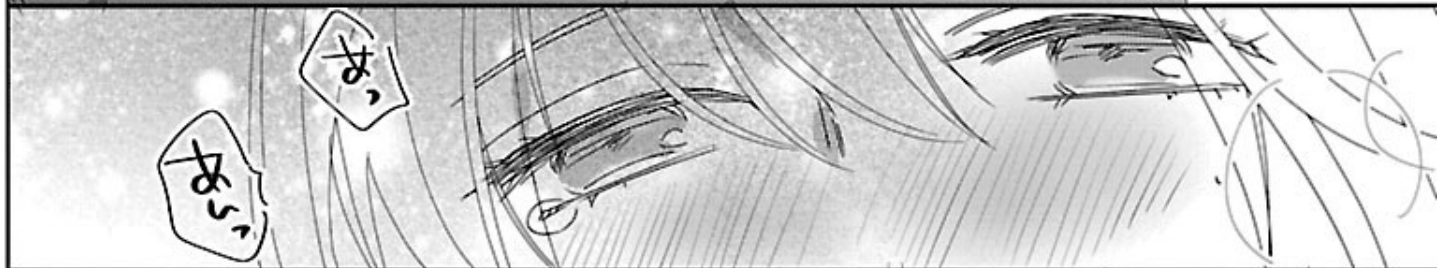
ぬっ
ぬっ
ぬっ

ああ...ん



あ

あ...ん



失った世界の
喪失感すら
忘れてしまう
ほどの快樂

でも

…このまま
甘んじてるの…
本能が呼び合う
「運命の番」では
あるのかも
しれないけど…



Q行方不明…
連続誘拐事件の可能性
××県〇〇市
アパートに痕跡
空き部屋を
使って性的暴行か

……



そして好きだと
言われたこともない



私は刈谷さんに
頂を噛まれた
わけじゃない…



家に置いて
もらってるんだし
家事くらい
させてもらって
刈谷さんには
仕事を…

俺も息抜き
してえのよ

あつ めちゃ
スーパ
行きたーい



え？

ヒートじゃないし
買い物くらい
1人で行けるのに



…んだけど



？

抑制剤を
飲まなくても
普通の生活が送れる

ヒートでなければ
Ωはフェロモンを
ほぼ漂わせないから



…どうですか

無言なのに
ストリートに親切



取っかぎ



ほいっ

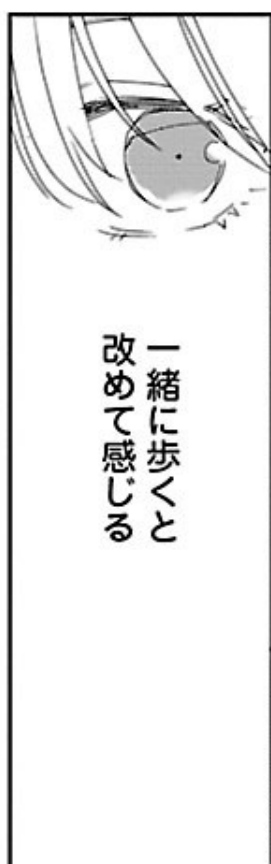


うわ…っ

……

スティー

過保護にされると
ちよっと照れるん
ですけど！



一緒に歩く
改めて感じる



だ…だって

ちよっと声
出さないでよ

ヒッヒッ



無意識に
視線が向かう

惹かれるのに
踏み込めない
カリスマ性



牛乳
持っても

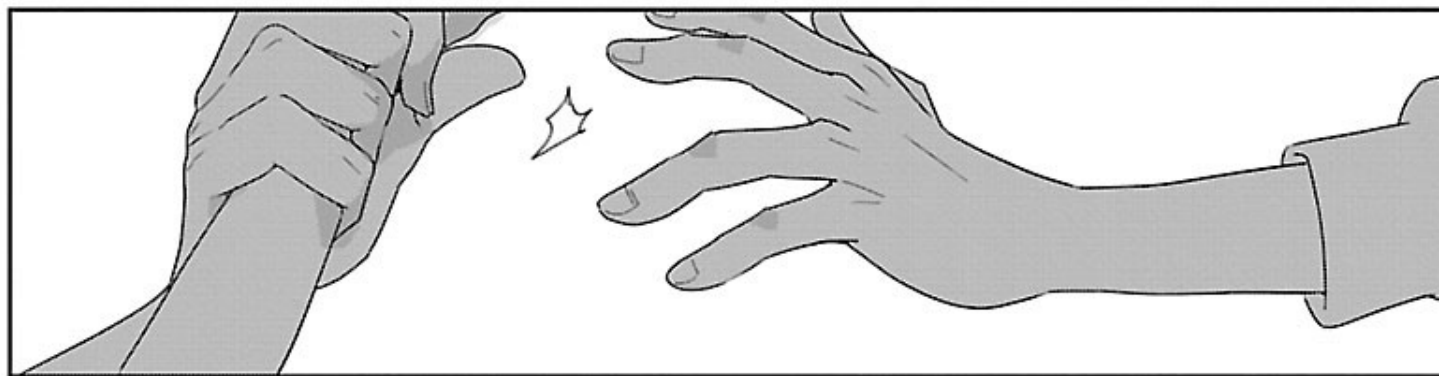
刈谷さんが
αだと



お醤油が
まだだった



私まで見惚れて
どうする！









一度手をつけた
Ωへの支配欲みたいな

あとは
せっかく面倒事から
助けてやったんだから
もう巻き込まれるな
とか



……でも

それでもこの
安心感はとても
嬉しくて…



おっ？



……





へー
俺 結構
作品数多いのに
そんな細かいとこ
覚えてて
すげえ

まさか全部
読んでたり
して…

キーン
ワッ



新刊
面白かった…



相田先生の
とこにいる時は
読めなかった
けど

それ以前は
全部…
読んでたし

結構覚えてる
シーン…ある

ていうか



けっこう…

すき…
だったし



ほんと
みお 滞って
ずるいねえ

くっ

うっ…
ほんと昔よ
昔!

へー
俺のファン
だったんだ



意外なところで
俺のツボ
突いてくるよ

あ。



か〜



も〜



…だめだ

これは…
やっぱり
だめだ

刈谷さんのそばは居心地がよすぎる

よーし
帰ったら
お礼の続きで
おっぱい
揉ませろ

は!?

彼にとつては
恋愛じゃないから
頂を噛まないん
だろう

めちゃくちや
身体目当てだし

運命の番のヤリたかった
のが9割
単に
HAHAHA
セックス
マシーナ

心地よいつて
言っても結局
ただれた関係
じゃんか!

.....

私だって
ついこの間まで
相田先生が好き
だったくせに...

その穴を埋めるように
刈谷さんに
甘えていいはずもない

.....それに もぐっ



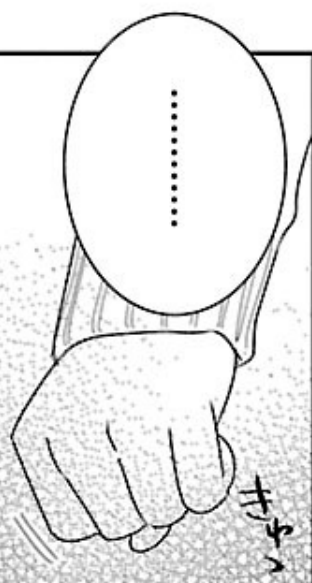
このままいたら
なんか勘違いしそう
だもの……

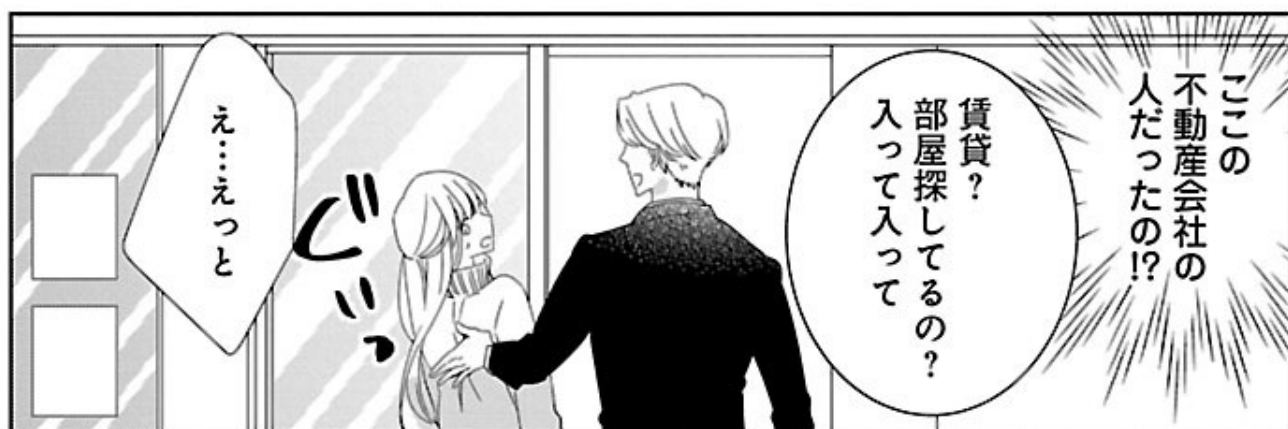


やっぱり
それなりに高いな……

ゴーストライター
時代に稼いだ
蓄えはあるから
引っ越しはできる

けど
早めに日雇いの
バイトも
探さないとな……





大丈夫だよ

いろいろ
紹介しますよ

じゃあ
明日にでも
物件を見に
行ってみますか

はい
よろしく
お願いします

よかった

結構いい部屋が
見つかりそう

そして
次の日…

いまま



滞？

また1人で
出かけてる
のか…？

ん？



不動産会社…



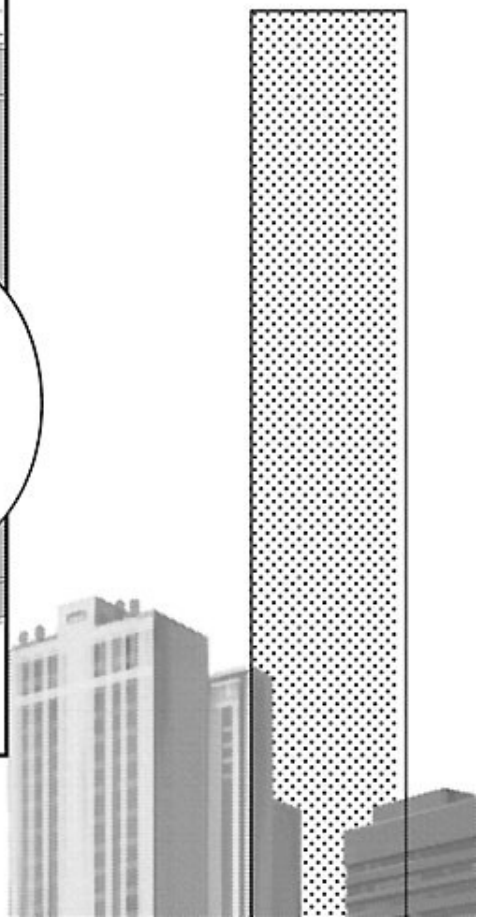
カ
ヤ

本当に
いい物件だと
思いますよ



駅から10分
築10年以内

1Kだけど
部屋が
とても広くて
日当たり良好











強制発情剤
なんだ

え……？



もちろん
違法だが
よく効いてね

そんな…

ヒートじゃ
なくても
発情状態に
なって
ひいひい悦ぶ

おかげで俺らは
いつでもお咎め
なしってわけ

……っ

身体が少しずつ
熱を持ってくる



ちゃんとか
カメラも
回しておいて
くれよ？

映像を買いたい
マニアもいる
からな

嫌だ…

や…やめ

そんなの
嫌だ

ああ…
だんだん
濡れてきた
ようだねえ





はあ、

はあ

はあ、
はあ

こんなに強情な
Ωは初めてだよ



まあまあ
1回イかせれば
あとはタガが
外れますよ

ほら...

がが
がが
がが

や...やだ...

やめ...



やめ
やめ
やめ

がが
がが
がが
がが

何
我慢して
るんだ
よ

ほらほら
イっちゃ
い
な
っ
て

ぐ
ぐ
ぐ
ぐ
ぐ
ぐ

だ
っ
て
…
私

も
う
こ
ち
ら
も
限
界
だ
…

あ
あ
…

嫌
だ
…

本
当
に
…
嫌
な
の

は
あ

…
さ
…
ん

抱
か
れ
る
な
ら

は
あ

か
…

り
や
…

さ

刈
谷
さ
ん
が
い
い

あ
あ
…
?
カ
リ
ヤ
?

誰
だ
そ
う
っ



俺だけど？



...え？

なんで
ここが

この付近のアパートで
性的暴行を受けたΩが
失踪したニュースの
見出し

鼻の利く男

不動産会社
の名刺

目星をつけて
濡を
捜してりや

ぶんぶん
匂ってくる
フェロモン...



お前1人で
何が……

ザッ



!?

!!



滯は俺の
運命の番だ

わからねえ
わけないだろ



αとまともに
対面するのは
初めてか……?

お前ら

……



あ、い、い

その本気を
教えてやるよ

あ、い、い

なぜが
この世の頂点と
思われるのか



……さん……

刈谷さん……

声が聞こえる……

は、は、

さあ



はやく……

はやくだいて

かりやさんに
たくさんおかされたい





はーっ

はーっ

俺も……

やりたくて
たまんねえ……



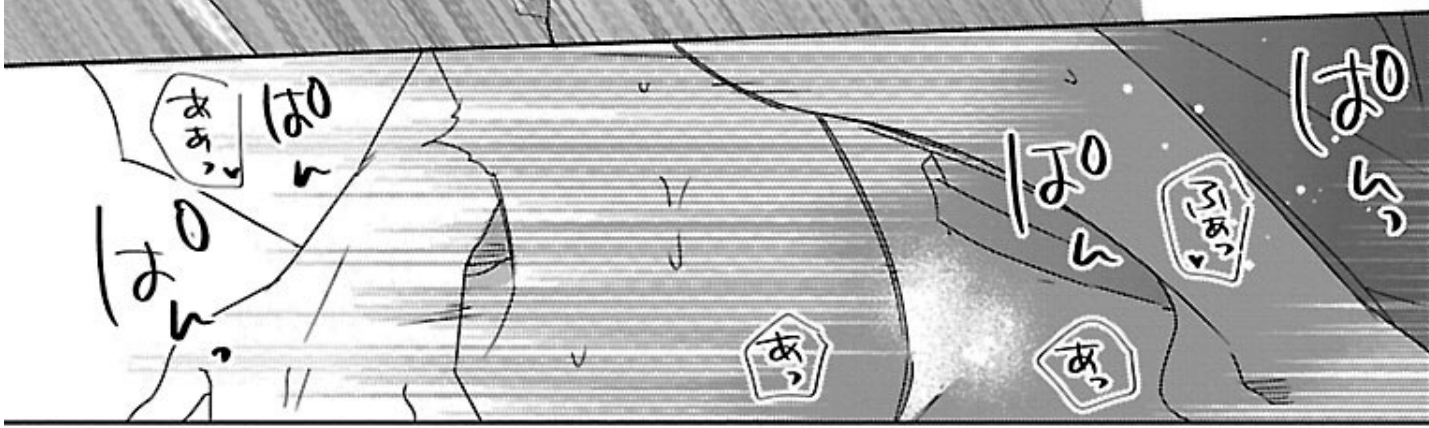
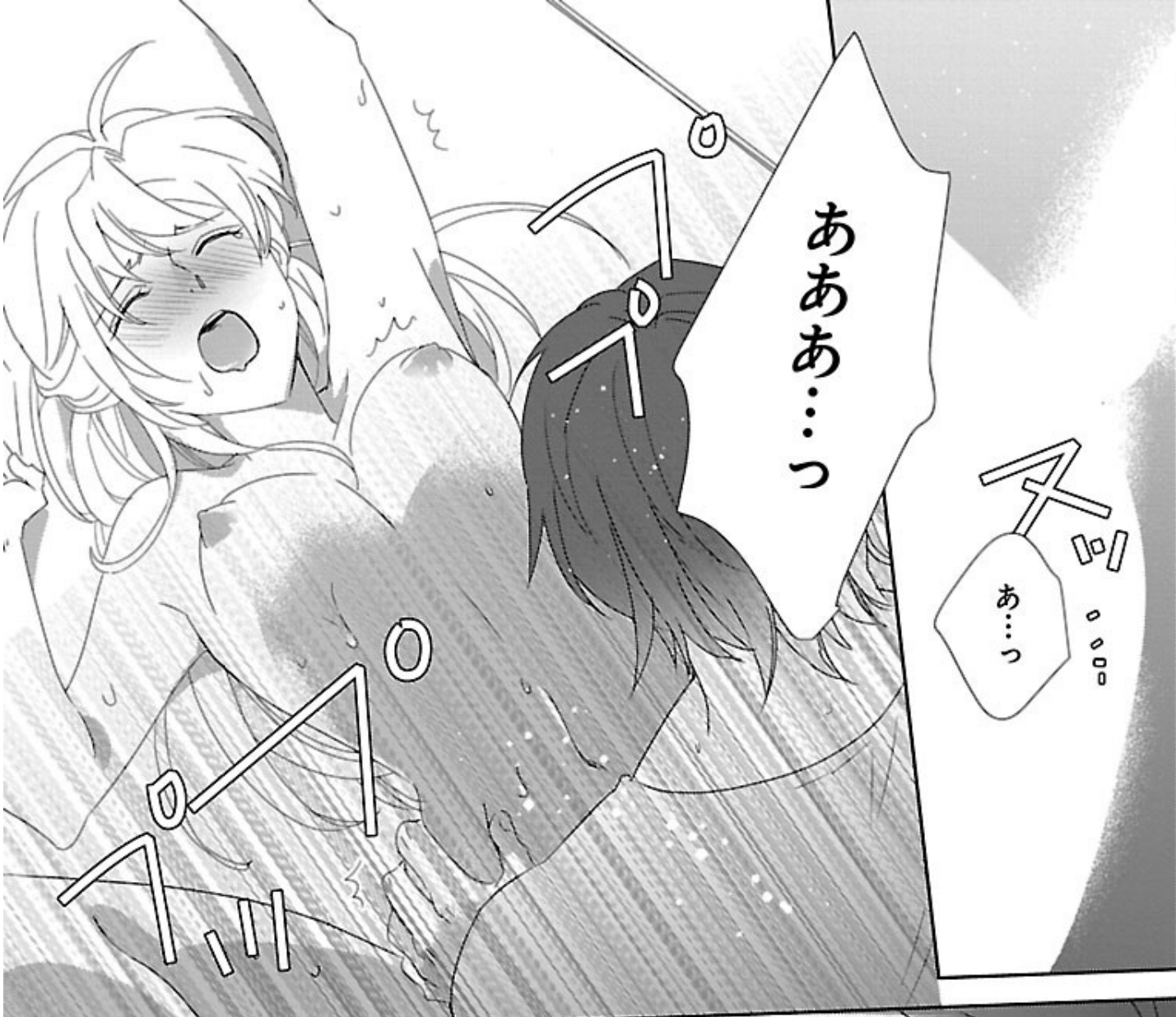
はーっ

はーっ

はーっ

判

判



気持ちいい…
気持ちいい…

これは…
紛れもなく
刈谷さんのカタチ

「運命の番
であることも
エレベーターで
やった時に
本能で感じてた」

私も本当は

わかってたの

初めて会った瞬間

膝から力が抜けて…

この人は私の
運命の番なんだって…

あの時は
相田先生が
好きで
心が2つに
裂けそうだった…

まだ…

せはっ

でも

まだ…もっただ



今は……

滯……



滯……

俺は……

はあ

はあ

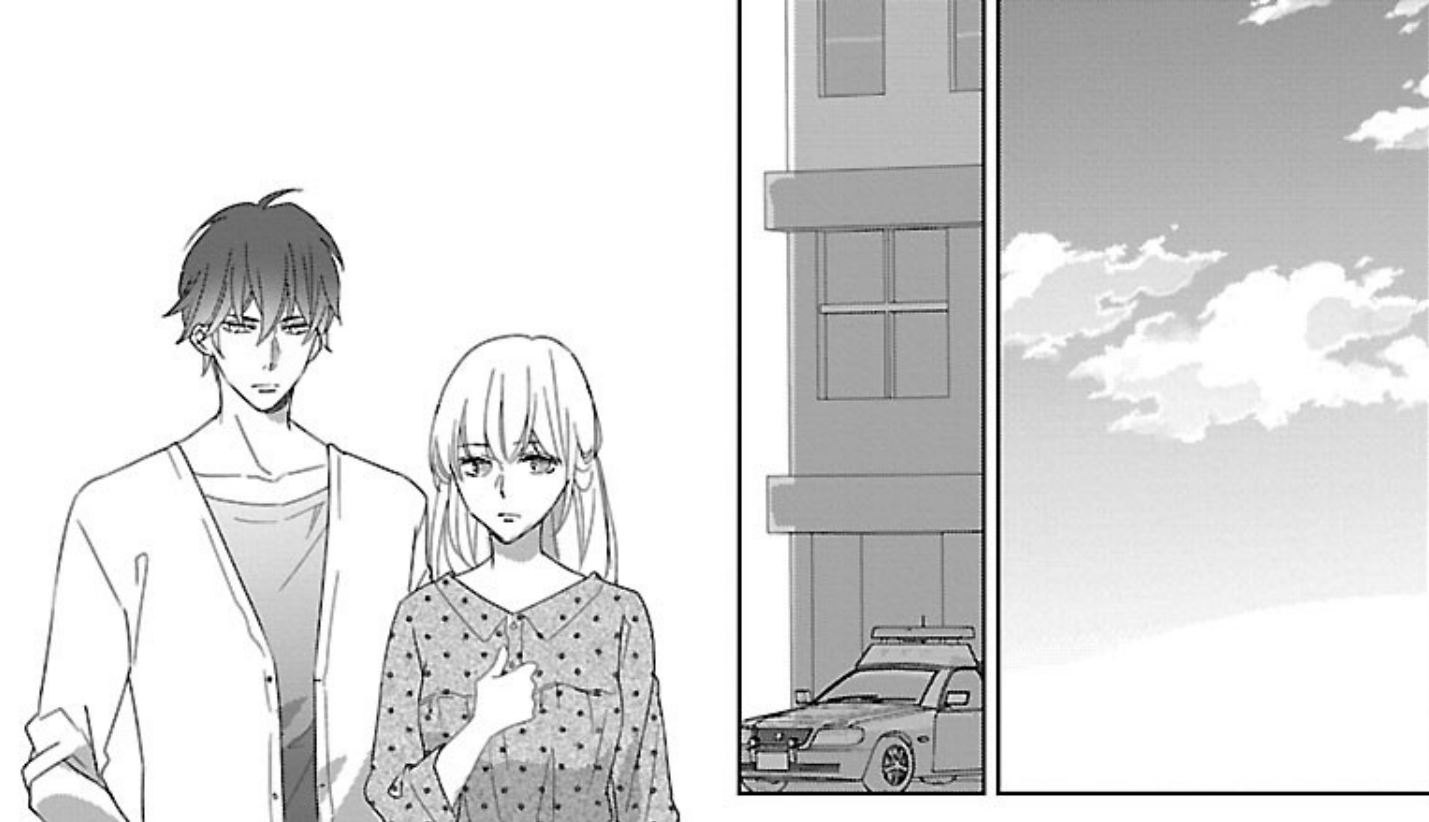
はあ



好きだ……

お前が……





強制発情剤：
違法ドラッグか

あいつら貴重種の
Ωを嗅ぎ分けては
それを使って
さんざん悪いことを
してきたらしい

お縄になって
よかったな

.....



1回くらいじゃ
依存性ない
らしいから
安心しろよ

……う……ん
わかってる

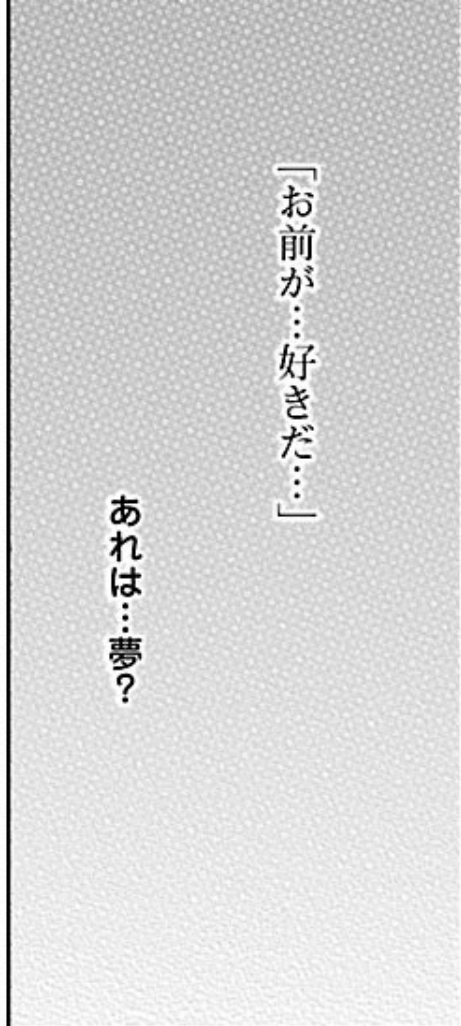
ちょっと……
まだ
混乱してる
だけ……

強制的に
ヒートにさせられて
途中から意識は
朦朧としてた



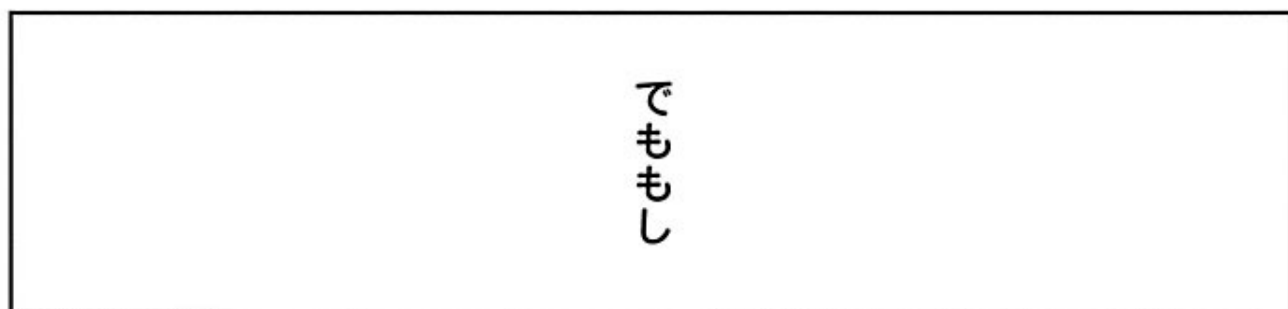
…嘘まれてない

やっぱり
夢だったのかな



「お前が…好きだ…」

あれは…夢？



でももし



夢じゃなかったら…

?



気絶してる
とはいえ

男どもの前で
さんざん
やったこと
怒ってるん
だろ

は!?



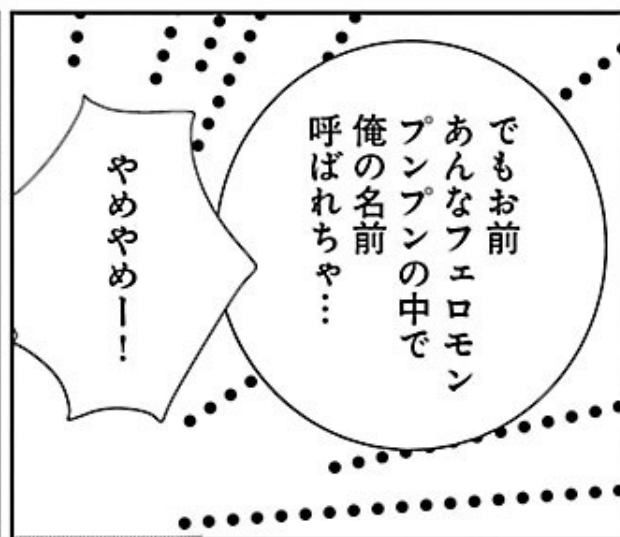
わかったぞ

えっ

ヒキッ



もう帰る!



やめやめー!


でもお前
あんなフェロモン
プンプンの中で
俺の名前
呼ばれちゃ...



まいったな...私

もう

後戻りできなく
なってるって
自覚がある



発情剤はもう
抜けきったはずなのに
まだ刈谷さんに
抱かれたがっている

他の男は嫌

いっそ
頂を噛まれたい



私……もう

身も心も
刈谷さんを求めている

#3





Ω^{まが}の失踪事件
言ってくれたら
よかったのに



いろいろあった
ばかりだし
びびらせたく
なかったんだよ
…てか



お前こそ
なんで黙って
引越し物件
見に行っ
たんだよ

いやあ…
その

お世話になりつ
ぱなしなもの
気が引けるし…

言えない

えっ





そんな時に
相田あいだがいい小説
出してきて
正直心が躍ったよ

…でも



手に入れた
山頂の景色は
心地こころいいが
たった1人じゃ
飽きる



俺は退屈
だったんだよ
書いたものが
次々と売れる



フタを開けて
みれば書いて
いたのは
ゴーストライター

お前だった
わけだ

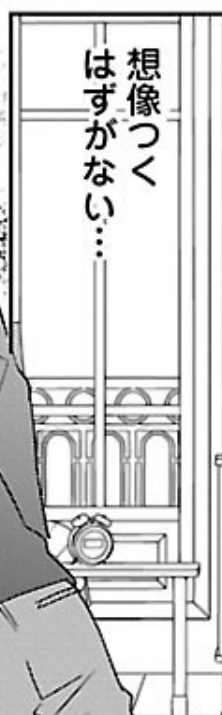


俺おれのもとに
来い

滞



Ωである私が
αである刈谷さんと
同じ場所に
立つなんて



想像つく
はずがない…



……
……
……
そんなこと



ぽん



理不尽な
扱いを受けたり
利用されたり
襲われたり
するたび

ひのせいで

そう
思ってきた
のに…

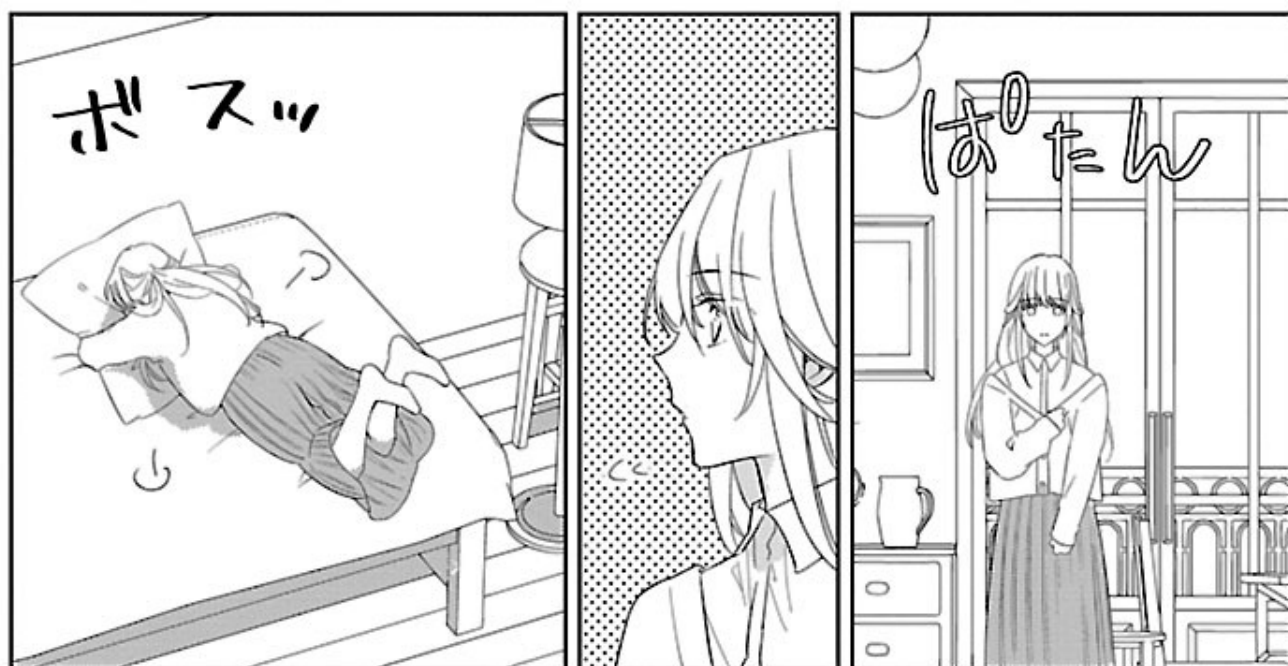


俺のもとで
安心して
小説を書け









そういうえば
1人いたな

中学生の頃の
先生

彼女もΩだった

番持ちで
フェロモンの
影響もないから
公務員である
教師になれたと
知ったのは
卒業してから

「たった1人の人を見つげられるのはとても素晴らしいことだよ」

あんなことよく言えたなって思う

だって私にとってΩであることは
枷かせでしかない

でももし

刈谷さんと
本物の「番」になれたら？

「お前が…好きだ…」

あの時の言葉

今でも
夢かうつつか
わからない



だって頂
噛まれて
ないし!

でも。。。。
強引に噛む人
じゃないし!



今までΩとして
大事にされたこと
なんてなかったし…

自信だって
ないよ…

でも

小説家として
デビューできたら

自分の気持ちを
伝える自信も
出るだろうか…





あの…



私…
Ωなんです…



そんな
私でも…



私がもらった
感動に
性属は関係
ありません

歓迎します



そんな
新たな出会いから

少しずつ
少しずつ

変化していった…

というわけで

先日頂いた小説は
うちの雑誌の
新人賞で
デビュー確定だと
思うの

大船に乗ったみたい
ー



じゃあ
私は社に
戻らないと

百合岡さんは？
駅まで送りま
しょうか？

あ…

大丈夫です
ここで刈谷さんと
待ち合わせ
してるから

ってなんですか
その顔!!



刈谷さんの存在は大きい

早く話したいな

デビュー確実って
言ってもらったこと
あと…
刈谷さんにはいろいろ
お礼を言って…

それから…



まだ
あいつのものに
なつて
ないんだね

滯

ずっと一緒に
住んでるん
だろ？

相田先生！？

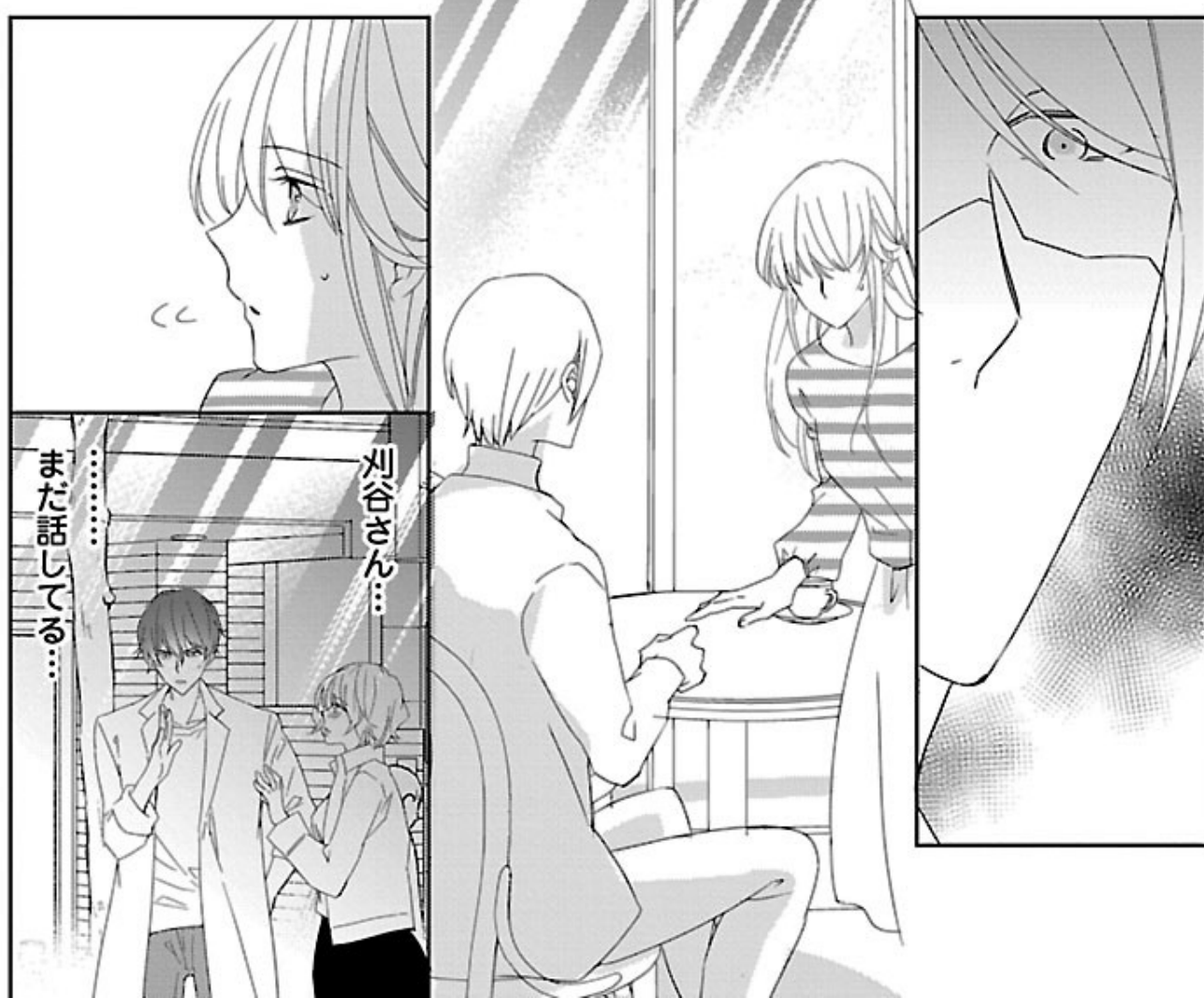
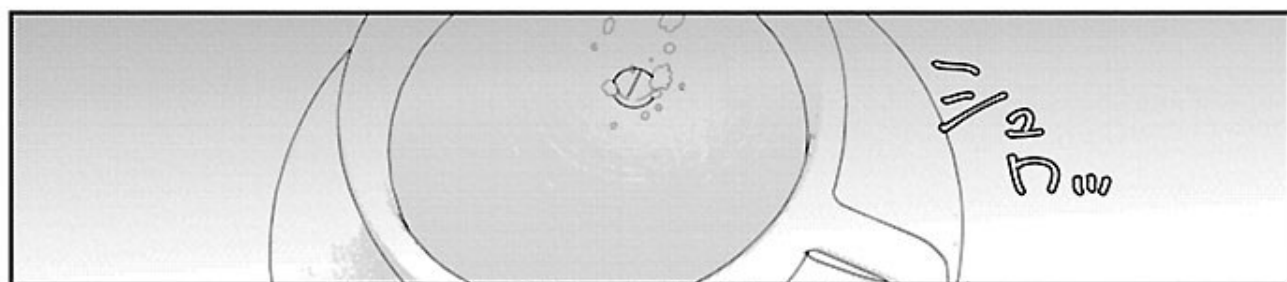
…っ！

番になる
気もないのに
ずっとΩを
そばにおいて
おけるαなんて
いるわけ？

ああ…

失礼しま…

そんなに
滯の身体が
いいってわけか





相田先生も
一言も話さない
なんの用…？



そう…
仕事だったん
だよ？
金も払ってた
じゃないか

なのに僕を
悪者にして
刈谷に乗り換えた

そんな…



君は本当に
僕のもとで
いい仕事を
してくれた

悪いけど

そろそろ



君がいなく
なって

小説の評判は
ただ下がり

せんせ…

…君以上の
ゴーストは
いない

あ…れ？

なんだか…

意識が
ほんやりして…
眠気が…

カ
ア
ッ

澪

僕のもとに
戻っておいで

は…

朦朧とする…

声が…遠い

あの…
私は失礼
しま…

おっと
歩けるかい？

…はなし…

表にタクシー
待たせてある
からね

ほら…
つかまって

まふたと身体が
鉛のように重くて…

澪!!

って…
相田…

カ
ッ

慌てなくても
連れて行って
あげます

彼女の居場所は
私の遊び友達
である
おじさまの
別荘なんです

というかおとなしく
来ていただけかないと
百合岡滯さんが
どうなるか…

しつこいと
思ったら
お前…

相田の
差し金か

そんな

私は心底
刈谷先生の
ファンなんです


ずうっと
ずうっと
お会い
したかった

先日
おじさまづてに
相田先生に
声をかけて
いただいて…

百合岡滯を
張ってれば
会えるって
言われて…

噂通り
刈谷先生がaで
私感激しました

だって私…




Ωなんでももの


αなら
私に発情して
いただけます
よね…



は、☆



ん……



起きた？
滯

相田先生…



くらっ

ここは…

まだ…少し
朦朧とする…

睡眠薬か何か
盛られたの…?

ドゥン

知り合いの
成金男の
別荘だよ

ちよっと
悪趣味だけど

悪趣味…

ドゥン
…でも
ここは奥方や
セフレたちの
遊興のために
作った別荘
らしくてね

ドゥン

特殊な
プレイルームが
いくつかあって

ここは
自分の奥さんと
スワッピングして
見せ合う部屋

この動悸
それだけじゃ
ない…

ドゥン
スワ…

ドゥン



ミヤッ

ドゥン





無駄だよ
さすがのαでも
強化ガラス
だから
破れない

濁…!



刈谷さん…



出入り口の
ドアと

互いの
部屋をつなげる
ドアには
暗証ロックが
かかっている

やばい…

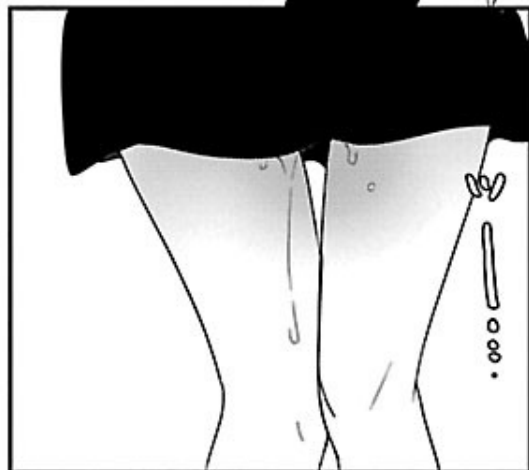
つまりお互い
丸見えな部屋に
2人ずつ別々に
いるわけだね

ドゥン

さっきから
息も乱れて
きて…

ドゥン

これって





お前も
ヒートか！

いや、



や…やだ…
やめて…
相田先生

何…？

何が
起きてるの

よく
見るんだ
漣

運命の番
なんて言っても
単なる欲求だ

やっ

うわっ
うわっ
うわっ



漣もそれを
理解したら
僕のところ
戻ってきやすい
だろう…？

わたし…

はぁ、



他のΩの
フェロモンに
あてられたら

やめて
漣は簡単に
そっちのΩを
抱いて肉棒を
大安売り

刈谷さんが
他の女性を抱いてる
ところなんて
見たくない…！

うわっ
うわっ
うわっ



抑制剤も切れて
もう…
こんなに
トロトロ
ですう…



私のフェロモンに
興奮して
くださって
るんですね…

嬉しい…

やめて…っ

だらし
ないなあ
刈谷も



そのおかげで
悪趣味な
ツテが増えて
もう1人のΩの
彼女とも出会えた

ビデオ…って
あれも
相田先生が…?

!!



最初は
滯が犯されてる
ビデオでも
調達して

刈谷を叩き
のめそうと
思ってたけど
失敗
したけど



毎夜この
プレイルームで
変態たちと
快樂を貪ってきた
真性Ωだよ
彼女は

彼女のフェロモンと
テクに夢中になる
刈谷をしっかり
見ておくんだ

やだ…

や…

キヤッ
びっ



そして滞
君は俺に
抱かれて

やだ



思い知るんだ


滞…




いや…

だって
わたし


わた…



刈谷さんが
好き...



...すぎ...



今日が
終わっても
私は.....

だいすぎ...

きつと



滯

やだやだ期は
抜けたか...?
やあつと
言ったな



俺も好きだ

な...なぜ
止められるの
...?

こんなに私の
フェロモンが
充満しても
理性を失わない
なんて...

...充満
してるのは
お前の
フェロモン
だけじゃ
ないからだよ

より甘くて

やらしくて

そつちに
そそられるに
決まってる

強化ガラス
なんかで
防げない





生まれて…
初めて

Ωでよかった
って…
思えた…



キリッ



刈谷さんに
出会って…
好きだって
言ってもらう
私にな…る
ために

私は生まれて

何げない…
日々を送って

思春期に
Ωになって



小説を
書いて

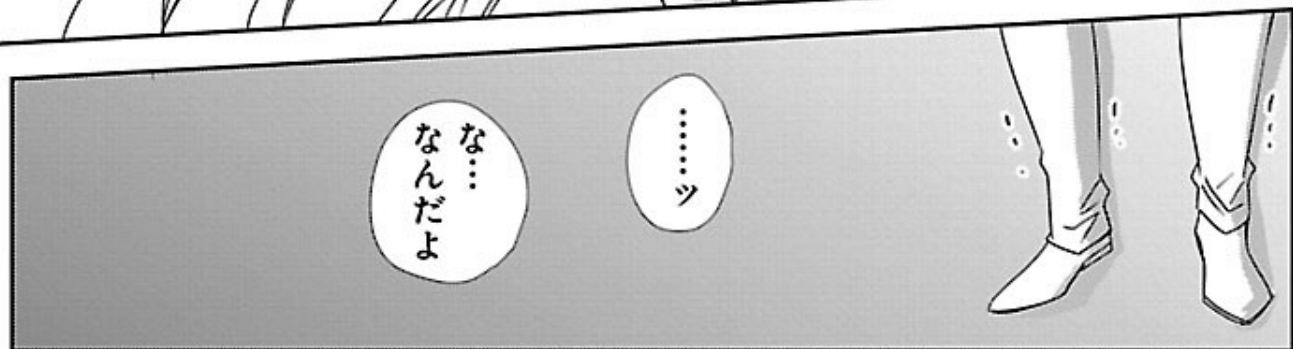
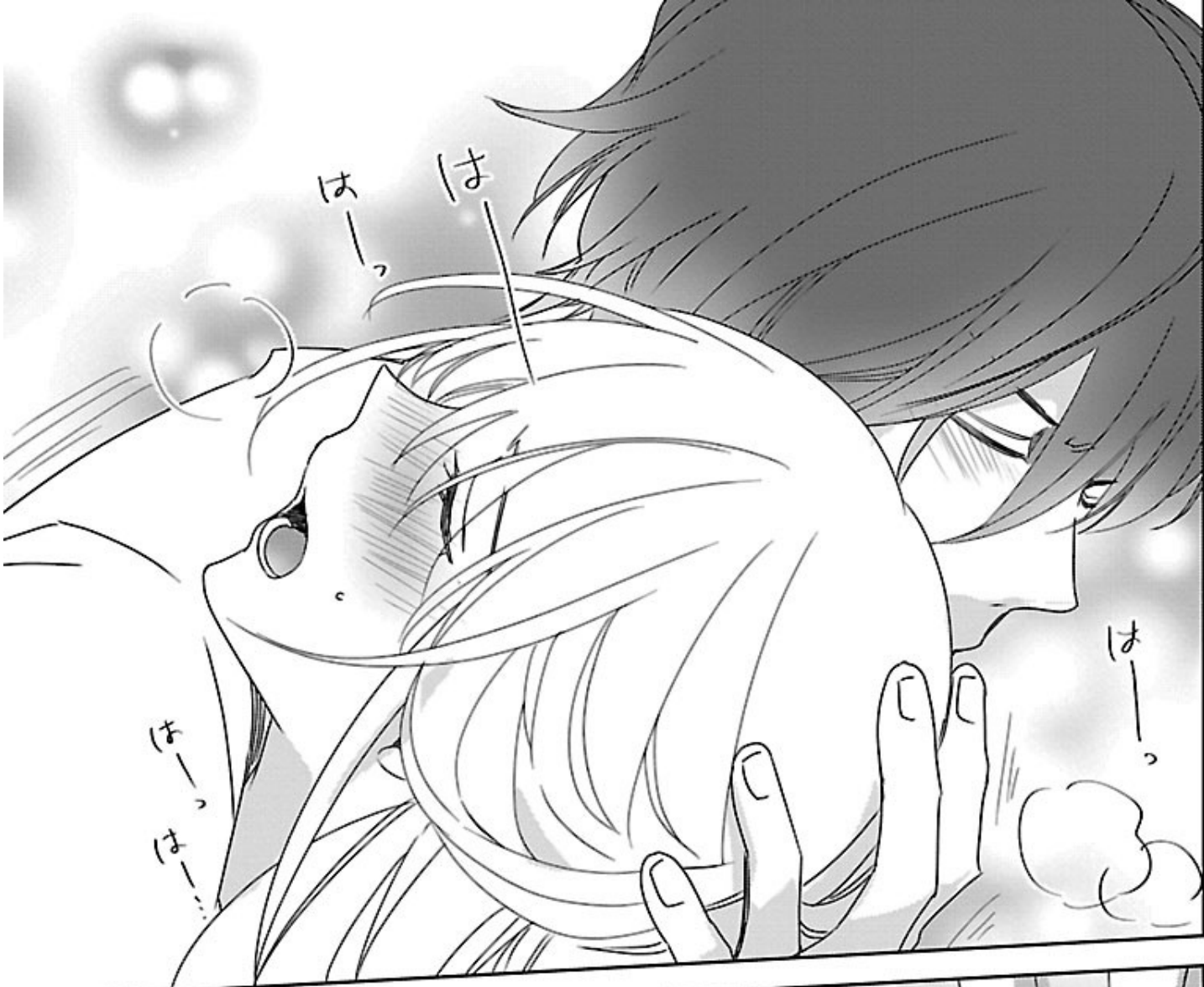
相田先生に
会って

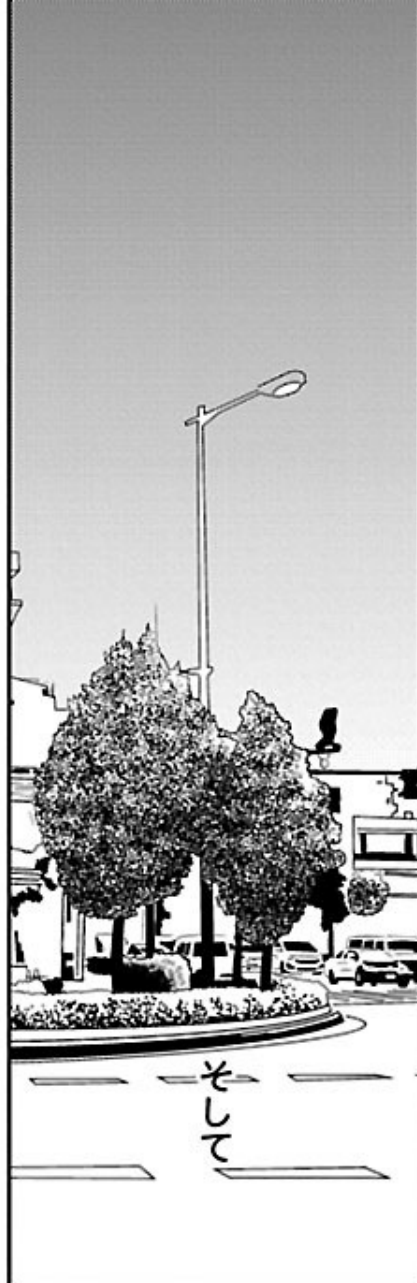
どんな
つらいことも
ぜんぶぜんぶ

必然だった……



たった1人の人に会うために







俺
こん…つなに
何かを我慢したの
初めて…

ひゃ…っ

ま…待って…



あ…？

布が乳首
かすれる
だけで
感じてんのか

な…っ

ひゃっ
ん…



え…つと
その

本当に
刈谷さん
私のこと…

っあ

今更!?



番の重みは
感じただろう

お前だって…

はぁ…



やりてえ



番つてのは
婚姻よりも
強い
つながりだ

ある意味
相手の一生を
奪うことにも
なる



それは
相田への
想いを

もしかしたら
小説を書く時間
すら俺は奪う
かもしれない

そんな
重み



大事な女に
勝手に背負わせ
られないだろ

刈谷さん…





キス
してくれ
ないと…
いや…

なの



アツク
アツク

……



クソ
クソ

くそ
んん

クソ

クソ
クソ



ッはは…

いき放題



ころん

!?

んあ…っ
刈谷…さ



ああ…っん

ちゃっ
びん

ひゃ…

だめ

それいいとこ
いっぱい…
あたるの…っ

…っ…
知ってる…よ

せ
ちん



運...

あなたに出会うために
ここまでできた

愛してる

アムン



私たちは本物の
番になれた

ベストセラー!!
百回巻作品

絶賛
各界の要請に応じ
100回巻出版
山崎園興

今回の新刊も
ベストセラー
大好評よ

華々しい
デビュー10周年で
担当の私も
鼻が高いわ

小宮さんのおかけです

なーに
言ってるの

今は
刈谷先生と
番だけど

それでも苦労も
あったと思う
書くことでも
……Ωとしても

さっし
そうですね
確かに

でも



たった1人の人を見つけれられるのは

素晴らしいことですから



あの時
見た木漏れ日

まだΩの何かも
知らずに

先生の話を
おとぎ話のように
聞いていた

百合岡先生

あの…
ファンなんです
サインして
いただけませんか？

ニッポン作家
デビュー
しました…



今は
そんな過去も

重たかった枷も
嘘みたいに軽い



こうして今
進む道行きさえ

ただいま



おー
お帰り

ゆき、

愛する人に
つながっていると
思えるから

ちよつと
プロット
詰まってるから
おっぱい揉まして

なっ
なっ！
最低！

私も仕事
があるの！

ケチ

初出一覧

#1 (2019年恋愛チェリーピンク9月号掲載)

#2 (2019年恋愛チェリーピンク11月号掲載)

#3 (2020年恋愛チェリーピンク1月号掲載)

かりやしろうどM疑惑 (描きおろし)



俺はときどき
思うんだが



俺って実は
ドMじゃね？
って

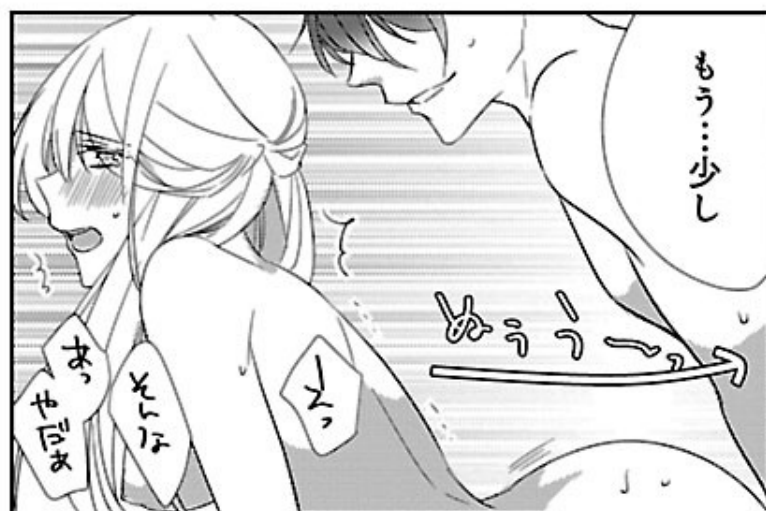
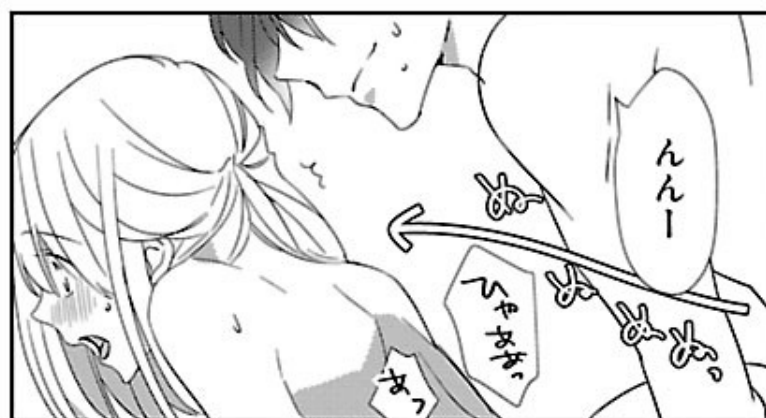


だあって...



あつ...な

何それ





かりやしろうドM疑惑 - end.



「上の口ではいやいや言っても

身体は悦んでるんだらう～発情オメガバース～
お買い上げ誠に
ありがとうございます！

ことの始まりは Twitter で
「ティーンズラブでオメガバースやるの難しそうだよなあ」
みたいな、他人事みたいなつぶやきから始まりました。

それが……
自分で描くことになるとは。

男女でもオメガバースならではのストーリーを考えるのがとても難しかったんですが、いつもより思い切った展開を描けて自分でも心が躍りました。



^{みお} 澤はどこまでかわいそうにしていかが、いつも悩みながら描いてました。

^{かりや} 刈谷はエリートと呼ばれる^{アムツ}αなんだけど、個人的趣味もあって、エリートっぽくないところも出してみました。冷蔵庫の中に何も無いし、いつも同じような服を着てる。

^{あいだ} 相田先生みたいな人は実在するんで気をつけてください。

そんなわけで、楽しんでいただける1冊となれば幸いです。

西臣匡子



恋愛MAX COMICS

上の口ではいやいや言っても身体は
悦んでるんだらう～発情オメガバース～

初版発行 2020年2月25日

著者
にし おみ きょう こ
西臣匡子

発行者
石井健太郎

発行所
株式会社 秋田書店

〒102-8101 東京都千代田区飯田橋 2-10-8
TEL / 編集 03(3264)7018 / 販売 03(3264)7248 / 製作 03(3265)7373
郵便振替 00130-0-99353

印刷所
誠宏印刷株式会社

装幀
島田絵里子

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

(禁/無断転載・放送・上映・上演・複写・公衆送信・Web上での画像掲載)
©西臣匡子 2020 Printed in Japan ISBN978-4-253-13711-9
この作品はフィクションであり、実在の人物・団体・事件等にはいっさい関係ありません。

デジタル版 2020年発行
製作所 デジタルカタパルト株式会社
<http://www.digital-catapult.com>